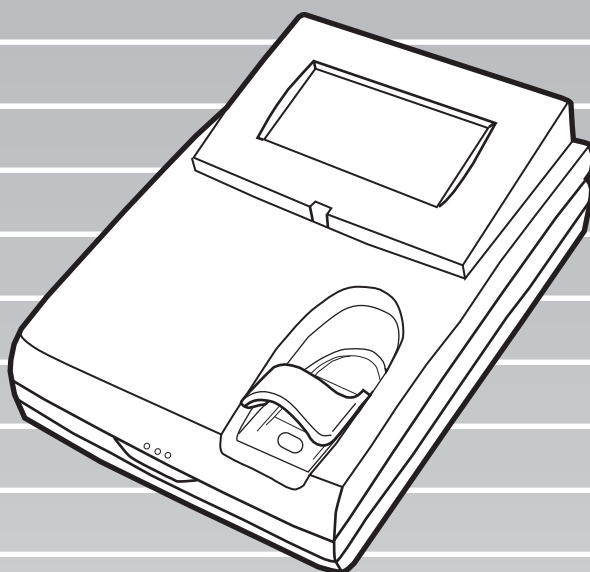



fi-5000N

オペレーターガイド



目次



| | |
|-------------------------------------|-----------|
| はじめに..... | v |
| ■ 本書をお読みになる前に | ix |
| ■ 安全上のご注意 | xi |
| 第 1 章 fi-5000N の概要 | 1 |
| 1.1 概要 | 2 |
| 1.2 製品の特徴..... | 3 |
| 1.3 運用例..... | 4 |
| 第 2 章 各部の名称と機能 | 7 |
| 2.1 各部の名称..... | 8 |
| 2.2 キーボード..... | 10 |
| 第 3 章 fi-5000N のインストール | 11 |
| 3.1 イメージスキャナの設置 | 12 |
| 3.2 fi-5000N 本体の設置..... | 12 |
| 3.3 fi-5000N のネットワーク設定 | 14 |
| 3.4 表示言語の変更 | 18 |
| 3.5 バックライト自動消灯モードの切り替え | 19 |
| 3.6 ビープ音のオン／オフ設定..... | 20 |
| 3.7 プル読み取り時の指紋認証設定 | 21 |
| 3.8 プッシュ読み取り後の自動ログアウト設定 | 23 |
| 3.9 ホストからの応答待ち時間の設定..... | 24 |
| 3.10 装置情報の確認..... | 25 |

| | |
|--|-----------|
| 3.11 設定の初期化 | 26 |
| 第 4 章 ドライバのインストールと設定 | 27 |
| 4.1 FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバのインストール | 28 |
| 4.2 ScandAll 21 のインストール | 31 |
| 4.3 FUJITSU ISIS スキャナドライバのインストール | 33 |
| 4.4 アプリケーションの設定 | 36 |
| 4.5 スキャナドライバおよびアプリケーションの アンインストール | 38 |
| 第 5 章 fi-5000N ソフトウェア | 39 |
| 5.1 fi-5000N ソフトウェアのインストール | 40 |
| 5.2 fi-5000N ソフトウェア概要 | 44 |
| 5.3 fi-5000N の追加と削除 | 47 |
| 5.4 fi-5000N ユーザー情報管理 | 50 |
| 5.5 fi-5000N 管理者設定 | 55 |
| 5.6 スキャナ情報管理 | 58 |
| 5.7 起動オプションの設定 | 63 |
| 5.8 fi-5000N ソフトウェアのアンインストール | 66 |
| 第 6 章 ユーザー認証機能 | 67 |
| 6.1 指紋登録 | 68 |
| 6.2 指紋認証 | 72 |
| 6.3 暗証番号認証 | 73 |
| 6.4 暗証番号の変更 | 74 |
| 第 7 章 日常のお手入れ | 75 |
| 7.1 清掃用具 | 76 |

| | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------|
| 7.2 | 清掃箇所と頻度 | 77 |
| 第 8 章 | 困ったときには | 79 |
| 8.1 | エラーメッセージと対処方法 | 80 |
| 8.2 | 困ったときには | 85 |
| 8.3 | サービスセンターに連絡する前に..... | 88 |
| 8.4 | 装置ラベルの確認..... | 89 |
| 第 9 章 | fi-5000N の仕様 | 91 |
| 9.1 | 装置基本仕様 | 92 |
| 9.2 | 設置諸元 | 93 |
| 9.3 | 外形寸法 | 94 |
| 9.4 | fi-5000N ソフトウェア仕様 | 95 |
| 索 引 | | IN-1 |
| 修理・お問合せについて..... | | RM-1 |

はじめに



このたびは、fi-5000N をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
fi-5000N は、イメージスキャナによるイメージ入力操作を、コンピュータを操作することなく、簡単かつ確実に実現することを目的として開発された装置です。
また、Setup CD-ROM の中に、スタートアップガイドが格納されていますのであわせてご一読ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。
詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」を参照してください。

<http://eco.fujitsu.com/jp>



いつも地球を見守っている

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

使用上のご注意

本製品のご使用については、マニュアルに記載の注意事項をよくお読みいただき正しく行ってください。スキャナを用いて読み取る原稿や読み取ったデータの保管や管理についてはお客様の責任において行ってください。

また当社が本製品に対して行う保証は、本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品と共に使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

読み取り画像の原稿再現性について

スキャナによって原稿を読み取りつくられる画像電子データが、お客様の必要とする精度・品質をもつ複製であることは保証するものではありません。読み取り結果である画像電子データの寸法精度、情報量、忠実度、色調等における再現性はお客様の責任においてご確認願います。読み取った原稿を破棄する際は、必ず読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上で、お客様の責任の下におこなってください。

指紋認証について

指紋認証は、完全な（100%の）本人認識、他人識別を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しても、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は利用者の識別データ情報として、登録利用者の指紋データから生成された情報を内部に蓄積します。これらの情報の流用／悪用の危険性を考慮し、本製品は以下の仕様となっています。

- 識別データ情報には暗号化処理を施しています。
- 識別データ情報から、登録者の指紋画像を復元・生成することはできません。
- 識別データ情報を検索・抽出することはできません。
- 識別データ情報は、製品内でネットワーク上のコンピュータを識別する目的にのみ使用されません。

なお、本製品に用いられているデータの暗号化技術等、危険性の低減措置は現時点の技術レベルに基づくものであり、将来においてもその堅牢性を保証するものではありません。

指紋情報は個人情報に該当します。このような個人情報の取り扱いにあたっては、「個人情報の保護に関する法律」およびその他の法令に準拠して、お客様の責任において必要な措置を実施願います。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

商標および登録商標について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

Adobe、Acrobat および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

| | |
|------------------------|--|
| Windows 2000 | Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 |
| Windows XP | Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 (32/64 ビット版) Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 |
| Windows Server 2003 | Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating system 日本語版 (32/64 ビット版) |
| Windows Vista | Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 (32/64 ビット版) Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 (32/64 ビット版) Microsoft® Windows Vista® Business operating system 日本語版 (32/64 ビット版) Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 (32/64 ビット版) Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版 (32/64 ビット版) |
| Windows Server 2008 | Microsoft® Windows Server™ 2008 Standard Edition operating system 日本語版 (32/64 ビット版) |

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)
TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2004-2009

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。
製品をお求めになった販売店、あるいは PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）への問い合わせをお願いします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

■本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

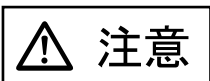
また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ、FUJITSU ISIS ドライバ、ScandAll 21、QuickScanTM、および fi-5000N ソフトウェアのものです。

■安全上のご注意



電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

また、本製品に添付されている電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因になることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店 または PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通気口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンター (RM-2 ページ) に連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。



装置を不安定なところに置かない



本装置のどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、装置動作不良の原因となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意しておこなってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

第1章

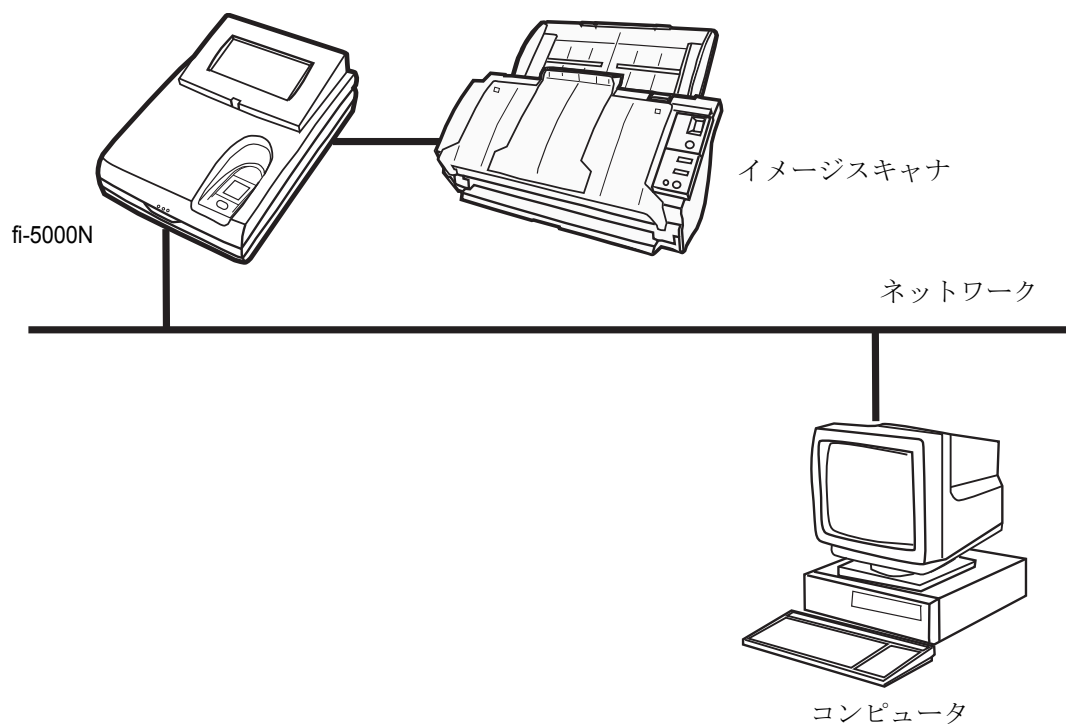
fi-5000N の概要

1

| | |
|----------------|---|
| 1.1 概要 | 2 |
| 1.2 製品の特徴..... | 3 |
| 1.3 運用例 | 4 |

1.1 概要

本装置は fi スキャナおよびネットワークを経由してコンピュータと接続する構成によって機能します。この構成を下図に示します。この構成全体を以降 **fi-5000N システム** と呼びます。



fi-5000N は USB インターフェースによって fi スキャナを接続し、スキャナから読み取ったイメージデータをネットワークを経由してコンピュータに送信します。これにより、イメージ入力が必要な現場で、コンピュータを操作することなくイメージを入力することが可能になります。また、**fi-5000N** は指紋認証機能を搭載しているため、許可されたオペレーターだけがイメージの入力可能という運用が可能になります。

これまでコンピュータ操作なしには運用することができなかった現場でも、本装置のみの操作で、簡単かつ確実にイメージ入力を行うシステムを構築することができます。

1.2 製品の特徴

1. 指紋認証によるワンタッチかつ確実なオペレーター認証

指紋認証技術により、指一本で簡単にオペレーターを認証します。特別なハードウェアキーや暗証番号を必要としません。

2. 高速なスキャナ読み取りおよびネットワーク送信

スキャナとの接続インターフェイスには USB 2.0 を採用、ネットワークインターフェイスには 100BASE-TX に対応し、高速なスキャナ読み取りおよびネットワーク送信を実現します。

3. システム資産を活用し、LAN を利用した分散入力業務システムが容易に構築可能

TWAIN/ISIS ドライバーインターフェイスを搭載しているため、従来システム資産を活かしつつ、リモートスキャニングシステムへ移行することができます。

4. コンピュータ上の管理ツールによる容易なメンテナンス

添付の「fi-5000N ソフトウェア」を用いることにより、fi-5000N 本体のユーザー登録や削除、ユーザー情報のバックアップ/リストアなど、fi-5000N の管理をコンピュータ上から簡単におこなうことができます。

また、1つの「fi-5000N ソフトウェア」で、複数の fi-5000N をまとめて管理することも可能です。

1.3 運用例

fi-5000N にスキャナを接続し文書を読み取るモードとしては以下の 2 つがあります。

1. プル読み取りモード

コンピュータ側からアプリケーションを用いてネットワーク上のスキャナで原稿を読み取り、読み取ったデータをコンピュータに取り込む読み取りモードです (データを引き出す = Pull)。読み取り開始時にユーザー認証操作をおこなうかどうかを指定できます。ユーザー認証をおこなうと、読み取りを開始した際に fi-5000N は認証待ち状態となります。スキャナに原稿をセットしユーザー認証 (fi-5000N で指紋または暗証番号によりおこなう) が完了するとスキャナは原稿読み取りを開始します。
("3.7 プル読み取り時の指紋認証設定" を参照)

2. プッシュ読み取りモード

スキャナに原稿をセットし [Scan] ボタン (あるいは [Send to] ボタン、設定による) を押すことにより読み取りを開始し、読み取りデータをコンピュータに送りこむモードです (データを押し込む = PUSH)。スキャナ上のボタンを押す前にユーザー認証操作が必ず入っており、事前に登録されたユーザーの本人確認が済んだ後でのみ原稿読み取りとデータ送付をおこなうことができるようになっています。操作自体は簡単で、スキャナへの原稿セット → 指紋認証 → [Scan] ボタンを押すという 3 ステップで、原稿の読み取り結果を特定のコンピュータに送り込むことができます。(スタートアップガイド第 2 章の記述にしたがって各種設定をおこなうと FUJITSU TWAIN 32 と ScandAll 21 を用いたプッシュ読み取りモードによる読み取りテストをおこなえます。)

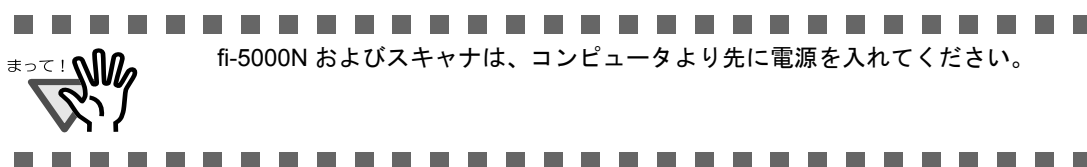
fi-5000N の特長は指紋認証付プッシュ読み取りモードによるセキュリティー機能と簡単操作にあります。fi-5000N の指紋認証結果を利用するシステムを構築することにより以下のような運用が可能となります。

1. イメージデータを読み取るコンピュータをネットワーク上で切り替える。

本装置内では、指紋認証の結果はオペレーターを特定するために利用されます。認証結果にしたがって、原稿を読み取るコンピュータを設定し、切り替えることができます。つまりスキャナを使う人ごとに読み取りデータを受け取るコンピュータを変えることができるわけです。
(スキャナの共有利用 など。)

2. 読み取ったイメージデータ処理の内容を切り替える。

専用のシステムを構築することにより、本装置は、指紋認証の結果をイメージ処理コンピュータへ通知する事ができます。コンピュータでは通知された認証結果にしたがってイメージの処理内容を切り替えたり、履歴を残したりする事ができます。
(オペレーターに応じた保管フォルダの切り替え、オペレーターに応じたデータ閲覧権限の付与、課金、処理のログなど。)



本製品は、運用管理者と機器操作オペレーターの2タイプの利用者を想定しています。それぞれの利用者がおこなうことは以下の通りです。

運用管理者（本マニュアル内では「管理者」と記載）

機器、イメージスキャナ、操作オペレーターの3つを管理する立場の利用者を言います。運用管理者は上記3項目の管理をおこないます。

1. 機器管理

本製品のメンテナンスを指し、以下の設定行為を指します。

- ・ネットワーク設定
- ・装置名称変更
- ・トリガーポートの変更
- ・暗証番号の変更
- ・機器メッセージ表示言語

2. イメージスキャナ管理

本製品に接続される、fi イメージスキャナのメンテナンスを指し、以下の設定行為を指します。

- ・接続装置の確認
- ・接続スキャナ設定状態の確認
- ・接続スキャナの調整値確認、変更
- ・接続スキャナ消耗品状態の確認、カウンター操作

3. 操作オペレーター管理

本製品でのイメージ読み取り操作者のメンテナンスを指し、以下の設定行為を指します。

- ・操作オペレーター情報の新規登録
- ・操作オペレーター情報の変更
- ・操作オペレーター情報の削除
- ・操作オペレーター情報の一括退避／復元

操作オペレーター（本マニュアル内では「ユーザー」と記載）

運用において、イメージ読み取り処理を実行するオペレーター（機器操作者）を言います。このオペレーターが実行可能な事は、以下の通りです。

1. システム起動

- ・指紋認証をおこない、イメージスキャナ上の読み取りボタン（[Scan] もしくは [Send to] ボタン）を押すことによって、システム側アプリケーションを起動することを指します。

2. 自分の指紋データの管理

- ・指紋データを登録する。
- ・登録済指紋データを更新する。

3. 自分の暗証番号の管理

- ・自分に割り当てられた暗証番号を変更する。

第2章



各部の名称と機能

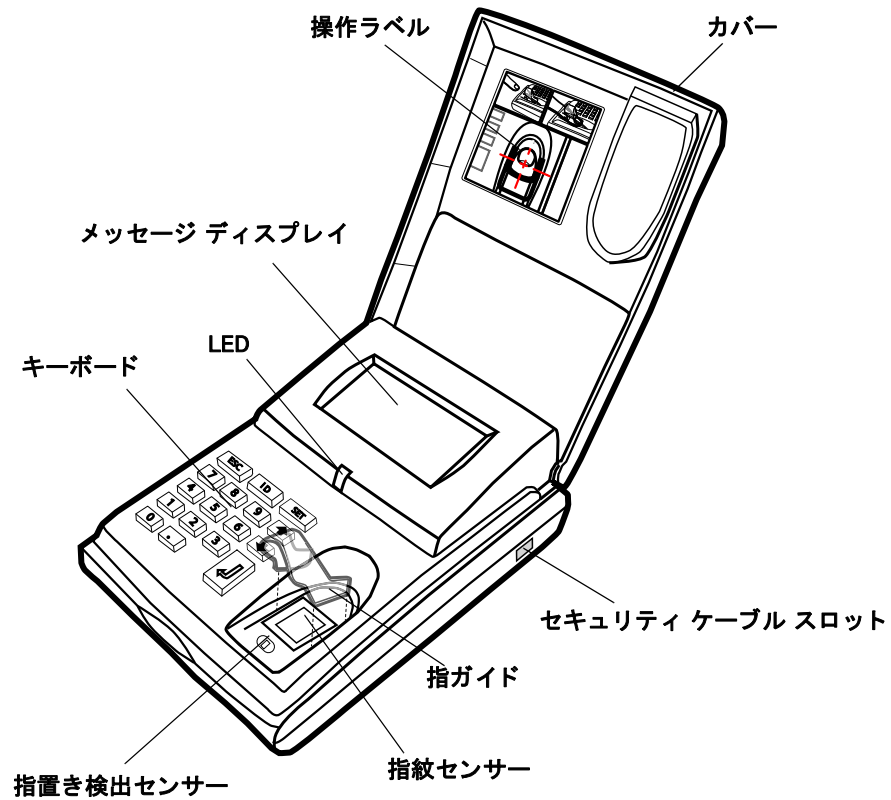
| | |
|----------------|---|
| 2.1 各部の名称..... | 8 |
|----------------|---|

| | |
|----------------|----|
| 2.2 キーボード..... | 10 |
|----------------|----|

2.1 各部の名称

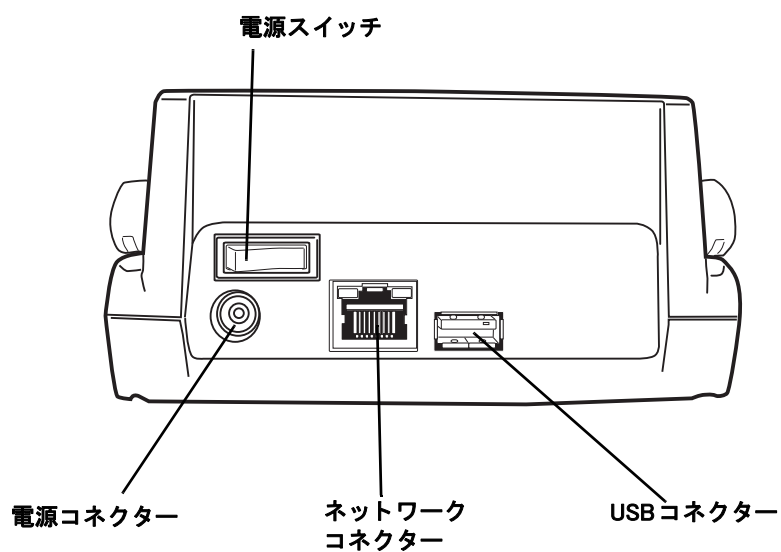
本装置の各部の名称について説明します。

■ 前面



| 名称 | 機能 |
|----------------|--|
| カバー | キーボードを保護します。 |
| 操作ラベル | 正しい指の置き方の手順が描かれています。 |
| メッセージ ディスプレイ | 装置の設定や状態を表示します。 |
| キーボード | 本装置の設定をしたり、暗証番号を入力します。 |
| 指置き検出センサー | 指が指紋センサー上に正しく置かれているかどうかを確認します。 |
| 指紋センサー | 指紋を認識するためのセンサーです。 |
| セキュリティケーブルスロット | セキュリティケーブルを接続します。 |
| 指ガイド | 指紋センサーに正しく指を導くためのプラスチックガイドです。取り外し可能です。 |

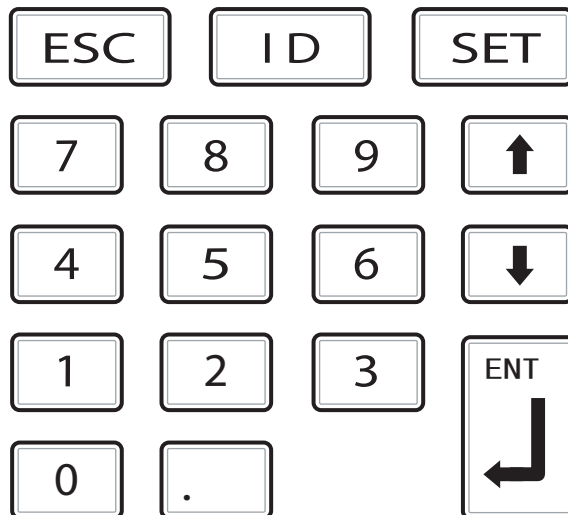
■ 背面



| 名称 | 機能 |
|-------------|--------------------|
| 電源スイッチ | 電源の投入、切断をおこないます。 |
| 電源コネクター | AC アダプターを接続します。 |
| ネットワークコネクター | ネットワーク ケーブルを接続します。 |
| USB コネクター | fi イメージスキャナを接続します。 |

2.2 キーボード

fi-5000N のカバーをあけると、下図のようなキーボードがあります。



このキーボードは、主に以下の操作をおこなうときに使用します。

- 指紋登録操作 (⇒ 6.1 章)
- 指を使わないログイン操作 (⇒ 6.3 章)
- 登録ユーザーの暗証番号変更 (⇒ 6.4 章)
- ネットワーク設定状態の表示 (⇒ 3.10 章)
- fi-5000N のネットワーク名の表示 (⇒ 3.10 章)
- ファームウェア版数の確認 (⇒ 3.10 章)
- 接続されているスキャナ状態の表示 (⇒ 3.10 章)
- fi-5000N のネットワーク設定 (管理者権限必要) (⇒ 3.3 章)
- プル操作時の指紋認証設定 (管理者権限必要) (⇒ 3.7 章)
- 読み取り後の自動ログアウト時間の設定 (管理者権限必要) (⇒ 3.8 章)
- バックライト自動消灯モードの設定 (管理者権限必要) (⇒ 3.5 章)
- ビープ音のオン/オフ設定 (管理者権限必要) (⇒ 3.6 章)
- ホストからの応答待ち時間の設定 (⇒ 3.9 章) (管理者権限必要)
- 表示言語の変更 (管理者権限必要) (⇒ 3.4 章)
- fi-5000N 設定内容の初期化操作 (⇒ 3.11 章)



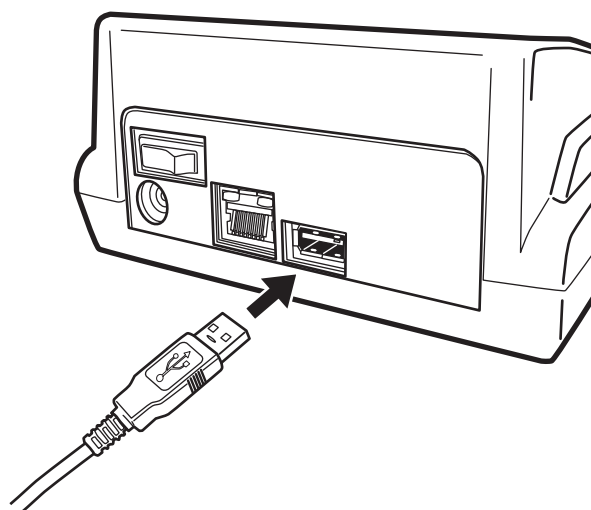
管理者権限による設定を行う場合は、管理者用暗証番号認証が必要です。
管理者用暗証番号は、fi-5000N 設定ツールで設定します。

第3章

fi-5000N のインストール

| | |
|-------------------------------|----|
| 3.1 イメージスキャナの設置 | 12 |
| 3.2 fi-5000N 本体の設置 | 12 |
| 3.3 fi-5000N のネットワーク設定 | 14 |
| 3.4 表示言語の変更 | 18 |
| 3.5 バックライト自動消灯モードの切り替え | 19 |
| 3.6 ビープ音のオン/オフ設定 | 20 |
| 3.7 プル読み取り時の指紋認証設定 | 21 |
| 3.8 プッシュ読み取り後の自動ログアウト設定 | 23 |
| 3.9 ホストからの応答待ち時間の設定 | 24 |
| 3.10 装置情報の確認 | 25 |
| 3.11 設定の初期化 | 26 |

3. USB ケーブルを、USB コネクタに接続します。



USB ケーブルは、fi シリーズのイメージスキャナに添付のものをお使いください。
市販の USB ケーブルでの動作は保証できません。

4. もう一方の端をイメージスキャナに接続します。



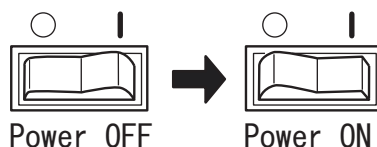
イメージスキャナが正しく接続されていない、もしくはイメージスキャナの電源が OFF になっていると、fi-5000N のメッセージディスプレイに「スキャナが接続されていません」のメッセージが表示されますので、そのときにはイメージスキャナの接続を確認してください。イメージスキャナの電源投入操作については、スキャナ装置の取扱説明書を参照してください。

3.3 fi-5000N のネットワーク設定

1. イメージスキャナと fi-5000N の電源を入れます。

イメージスキャナの電源投入操作については、イメージスキャナ装置の取扱説明書を参照してください。

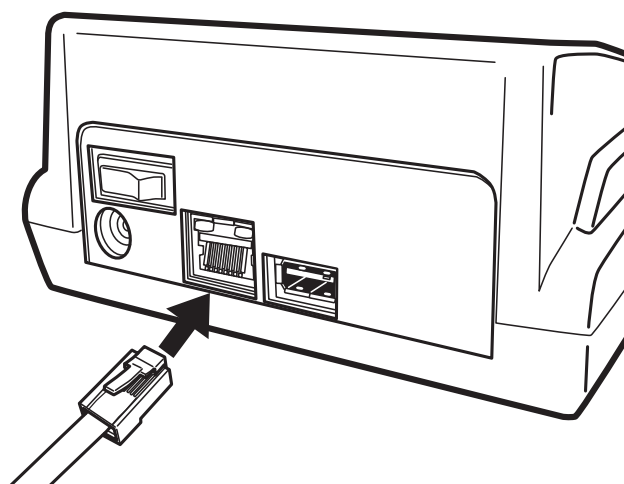
fi-5000N の背面にある電源スイッチの「|」側を押すと、fi-5000N の電源が入ります。



まって!

メッセージディスプレイの表示言語を変更したい場合は「3.4 表示言語の変更」(18 ページ)を参照してください。

2. fi-5000N のメッセージ ディスプレイに「ネットワークケーブルが接続されていません」と表示されている状態で、背面のネットワークコネクタにネットワークケーブルを接続します。



次の画面が表示されます。

DHCPサーバから
IPアドレスを
取得中 . . .
中止 [ESC]



ヒント

上記画面が表示されたまま止まってしまう場合は、fi-5000N のカバーを開いて、[ESC] キーを押してください。

⇒次の画面が表示されて、IP アドレスの取得を中止します。

DHCPサーバから
IPアドレスを取得
できませんでした
設定 [SET]

DHCP サーバから IP アドレス取得に成功すると、「指紋センサーに指を置いてください」というメッセージが表示されます。

3. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。
次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

4. 操作パネルの [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して [↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _
戻る : [ESC]

5. 管理者用の暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

6. 「ネットワーク設定」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような選択画面になります。

DHCPを使用しますか?
DHCPを使用する
固定IPを使用する

7. DHCP（動的ホスト構成プロトコル）サーバから、IP アドレスを自動的に取得する場合は、「DHCP を使用する」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。
手動で IP アドレスを入力する場合は、「固定 IP を使用する」を選んで [↵] (ENT) キーを押します。

「DHCP を使用する」を選択した場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの設定が不要になります。⇒ **手順 11** に進んでください。

「固定 IP を使用する」を選択した場合は、次のようなネットワーク設定画面になります。

IPアドレス:
XXX. XXX. XXX. XXX



まって!

DNS 自動更新 (ダイナミック DNS) に対応していない DNS サーバおよび DHCP サーバでは、IP アドレス設定に DHCP を指定した場合、「ホスト名解決の問題」が発生することがあります。

ネットワーク管理者に相談の上、以下のいずれかの方法にて対処してください。

fi-5000N について

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くする。
- 3) 固定 IP 設定に切り替える。

ホストコンピュータについて

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くし
DNS サーバにコンピュータ名を登録する。
- 3) 固定 IP 設定に切り替える。

8. IP アドレスを入力します。

現在設定されている IP アドレスが入力欄に表示されています。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しいアドレスを入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

9. サブネットマスクを入力します。

現在設定されているサブネットマスクが入力欄に表示されます。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しい値を入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

10. デフォルトゲートウェイを入力します。

現在設定されている IP アドレスとサブネットマスクで決まる部分まで表示されていますので、続きを入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

11. DNS サーバのアドレスを、DNS1 (優先)、DNS2 (代替) に入力します。

現在設定されているアドレスが入力欄に表示されています。変更するときは、一度 [ESC] キーを押して入力欄をクリアします。正しいアドレスを入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

省略する場合は、未入力状態または「0.0.0.0」と入力して、[↵] (ENT) キーを押します。DNS1 の入力を省略すると DNS2 の入力はスキップされます。

デフォルトゲートウェイアドレスが適切であれば、速度/Duplex (オートネゴシエーション) 設定画面になります。

速度/Duplex選択
Auto Negotiation
100BASE-TX Full
100BASE-TX Half

12. 「Auto Negotiation」、「100BASE-TX Full」、「100BASE-TX Half」、「10BASE-T Full」、「10BASE-T Half」のいずれかを [↑]、[↓] キーで選択して [↵] (ENT) キーを押します。

通常は「Auto Negotiation」を選択します。[↵] (ENT) キーを押すと次のネットワーク設定確認画面が表示されます。
 接続するハブ等がオートネゴシエーションをサポートしていない場合は、対応している速度 /Duplex 選択を設定してください。

IP : XXX. XXX. XXX. XXX
 MASK : XXX. XXX. XXX. XXX
 GW : XXX. XXX. XXX. XXX
 OK : [ENT] / NG : [ESC]



接続するハブ等がオートネゴシエーションをサポートしている場合は「Auto Negotiation」に設定してください。オートネゴシエーションをサポートしていない場合は、対応している速度 /Duplex を設定してください。

次のような場合にはネットワーク通信が正常におこなわれないことがあります。

- 接続するハブ等がオートネゴシエーションのみのサポートなのに「100BASE-TX Full」や「10BASE-T Full」を設定したとき
- 接続するハブ等がオートネゴシエーションをサポートしていないのに「Auto Negotiation」に設定したとき
- 接続するハブ等が対応していない速度 /Duplex を設定したとき

詳しい接続方法や条件などについては、ご使用になるイーサネットハブ取扱説明書をご参考ください。

13. 設定内容 (2 画面) を確認します。

修正する場合は、[ESC] キーを押す毎に設定項目を戻っていきます。修正項目の設定画面まで戻り、そこから再度設定します。内容に問題が無ければ [↵] (ENT) キーを押してください。次の画面が表示されます。
 これでネットワーク設定は完了です。

ネットワーク
初期化中...



fi-5000N 本体の設定を初期化すると、ここで設定した値はクリアされます。忘れないように、メモしておきましょう。

| <u>ネットワーク設定</u> | |
|-----------------|---------|
| 装置名 | : |
| IP アドレス | : . . . |
| サブネットマスク | : . . . |
| デフォルトゲートウェイ | : . . . |
| DNS 1 | : . . . |
| DNS 2 | : . . . |

(DHCP を使用する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの記入は不要です。)

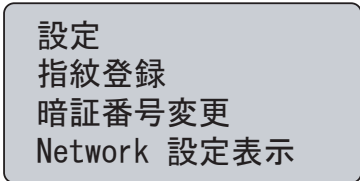
3.4 表示言語の変更

メッセージディスプレイの表示言語は、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語の 6 言語の中から、選択して切り替えることができます（出荷時設定は日本語となっています）。

以下の手順でおこないます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

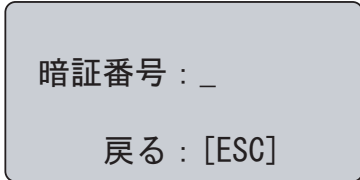
次のような設定画面が表示されます。



設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して [←] (ENT) キーを押してください。

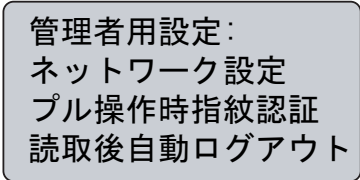
管理者の暗証番号入力画面になります。



暗証番号 : _
戻る : [ESC]

3. 管理者用の暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[←] (ENT) キーを押してください。

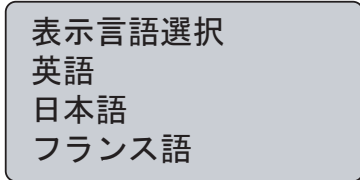
次の画面になります。



管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで「表示言語変更」を選んで、[←] (ENT) キーを押してください。

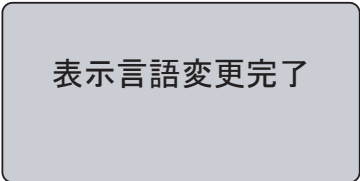
次のような設定画面になります。



表示言語選択
英語
日本語
フランス語

5. [↓] キーを使って好みの言語を選んで、[←] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。



表示言語変更完了

これで表示言語の設定は完了です。

3.5 バックライト自動消灯モードの切り替え

メッセージディスプレイのバックライトを常時点灯するか、自動消灯（5分間使用しない場合に消灯）するかを指定することができます（出荷時設定は自動消灯となっています）。
以下の手順でおこないます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して、[↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

3. 管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで、「バックライト自動オフ」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような設定画面になります。

バックライト自動オフ

する
しない

5. 一定時間使用しない状態が続いたときにバックライトを消す場合は「する」を選択、常時点灯させたい場合は「しない」選択して、[↵] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。

バックライト
自動オフの設定を
変更しました

これでバックライトの消灯設定は完了です。

3.6 ビープ音のオン／オフ設定

動作確認用のビープ音を鳴らすかどうかを指定することができます（出荷時設定はオンとなっています）。

以下の手順でおこないます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して、[↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _
戻る : [ESC]

3. 管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで、「ビープ音オン／オフ」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような設定画面になります。

ビープ音
オン
オフ

5. ビープ音を鳴らす場合は「オン」を選択、鳴らさない場合は「オフ」選択して、[↵] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。

ビープ音の設定を
変更しました

これでビープ音設定は完了です。

3.7 プル読み取り時の指紋認証設定

プル読み取り時に、指紋による認証をおこなうかどうかを指定することができます。
デフォルトでは、指紋認証するになっています。



スキャナで読み取りをおこなう場合、通常、プッシュ読み取りとプル読み取りの2種類の読み取り方があります。

「プッシュ読み取り」とは、スキャナ側から読み取りボタンなどで読み取り操作を実行し、読み取ったデータをコンピュータに送り込む（押し込む）動作を指し、

「プル読み取り」とは、逆にコンピュータ側からアプリケーションを使ってスキャナを作動させ、読み取ったデータを吸い上げる（引っ張る）動作を指します。

「プッシュ読み取り」の場合、読み取ったデータの送り先を特定するために、必ず指紋認証（あるいは、暗証番号による認証）が必要となりますが、

「プル読み取り」の場合は、データの受け取り側から操作を開始するため、必ずしも認証は必要ではありません。セキュリティ機能として使用してください。

以下の手順で設定を変更することができます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを6回押し、「管理者用設定」を選択して、[←] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _
戻る : [ESC]

3. 管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[←] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで、「プル操作時指紋認証」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような設定画面になります。

プル操作時指紋認証

する
しない

5. プル操作時に指紋認証をおこなう場合は「する」を選択、必要ない場合は「いいえ」を選択して、[↵] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。

プル操作時指紋認証
の設定を変更しました

これで、プル操作時の指紋認証設定は完了です。
次回の読み取りから有効になります。



ヒント

プル操作で、アプリケーションからスキャナドライバを起動すると、読み取りを開始するまでの間、次の画面が表示されます。

指紋センサーに指を
置いてください
(使用予約中)



ヒント

ScandAll 21 を用いたプル読み取り時の指紋認証について

ScandAll 21 を起動し、TWAIN UI 画面を開き、「読取」ボタンを押すとコンピュータのモニタ画面上に「ユーザー認証を待っています。fi-5000N にて、ユーザー認証を行ってください。」と表示されます。fi-5000N 本体での指紋認証を待つ状態ですので、本体で指紋認証を行ってください。認証が成功すると、読み取り動作が開始されます。

3.8 プッシュ読み取り後の自動ログアウト設定

この設定はプッシュ読み取り時のみ適用されます。スキャナで読み取りをおこなった後に、自動的にログアウトするまでの時間を指定することができます。

ログアウトするまでは、指紋認証なしで、続けて読み取りをおこなうことができます。

デフォルトでは、0秒が設定されています。

以下の手順で設定を変更することができます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して、[↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

3. 管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで、「読取後自動ログアウト」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような設定画面になります。

読取後自動ログアウト
時間 (0~60) [秒]

0_

5. キーボードで 0 ~ 60 秒の範囲で数値を入力し、[↵] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。

読取後自動ログアウト
時間の設定を
変更しました

これで、読み取り後の自動ログアウト時間が変更されました。

次回の読み取りから有効になります。

3.9 ホストからの応答待ち時間の設定

fi-5000N から指紋認証あるいは暗証番号によってログインしホストに接続する際のホストからの応答に対する待ち時間を指定することができます。ここで指定した時間待ってもホストからの応答がない場合は、「ホストとの接続タイムアウトです」と表示されます。デフォルトでは、3秒が設定されています。

以下の手順で設定を変更することができます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを 6 回押し、「管理者用設定」を選択して、[↵] (ENT) キーを押します。

管理者の暗証番号入力画面になります。

暗証番号 : _

戻る : [ESC]

3. 管理者用暗証番号（デフォルト値は「5000」）を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になります。

管理者用設定:
ネットワーク設定
プル操作時指紋認証
読取後自動ログアウト

4. [↓] キーで、「Host 接続タイムアウト」を選んで、[↵] (ENT) キーを押します。

次のような設定画面になります。

Host接続タイムアウト
(1~60) [秒]

3_

5. キーボードで 1 ~ 60 秒の範囲で数値を入力し、[↵] (ENT) キーを押してください。

次のような完了メッセージが表示されます。

Host接続タイムアウト
の値を変更しました

これで、ホストからの応答待ち時間が変更されました。
次回のログイン時から有効になります。

3.10 装置情報の確認

fi-5000N のネットワーク設定、本体の装置名、ファームウェアのバージョン、接続されているスキャナ名などの情報は、以下の手順で、メッセージディスプレイ上に表示して、確認することができます。

1. fi-5000N のカバーを開けて、[SET] キーを押します。

次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーを使って、以下の項目を選択し、[←] (ENT) キーを押します。

- ① 本体のネットワーク設定を確認する場合は、「**Network 設定表示**」を選択します。
(変更方法については、「3.3 fi-5000N のネットワーク設定」(14 ページ)を参照してください。)

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示
本体装置名表示
ファームバージョン
スキャナ情報表示
管理者用設定

- ② 本体装置名を確認したい場合は、「**本体装置名表示**」を選択します。
(変更方法については、「5.5 fi-5000N 管理者設定」(55 ページ)を参照してください。)

- ③ 本体ファームウェアのバージョンを確認する場合は、「**ファームバージョン**」を選択します。

- ④ 本体に接続されているスキャナの装置名を確認する場合は、「**スキャナ情報表示**」を選択します。

選択した情報が、メッセージディスプレイ上に表示されます。

情報が複数ページにわたる場合は、[←] (ENT) キーを押すと、次のページに移動します。

最終ページで [←] (ENT) キーを押すと、手順 1 の設定画面に戻ります。

3.11 設定の初期化

fi-5000N 本体の設定を、工場出荷時の状態に戻すには、以下の手順をおこないます。



初期化するとユーザー情報はすべて削除されます。また fi-5000N の設定内容はすべて初期化されます。初期化をおこなう前に「5.4 fi-5000N ユーザー情報管理」を参照しユーザー情報のバックアップをおこなってください。また復元時に必要なネットワーク情報をメモしておいてください。

1. fi-5000N の電源を入れます。
2. カバーを開けて、[SET] キーを押します。
次のような設定画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

3. [ID] キーと [.] キーを同時に 5 秒間以上押します。
次のような確認画面が表示されます。

本当に工場出荷時の
状態に戻しますか。
はい: [ENT]/
いいえ: [ESC]

4. 初期化する場合は、[↵] (ENT) キーを押します。
次のような初期化完了画面が表示されます。

工場出荷時の状態に
戻しました。
本体を再起動して
ください。

5. fi-5000N を再起動します。

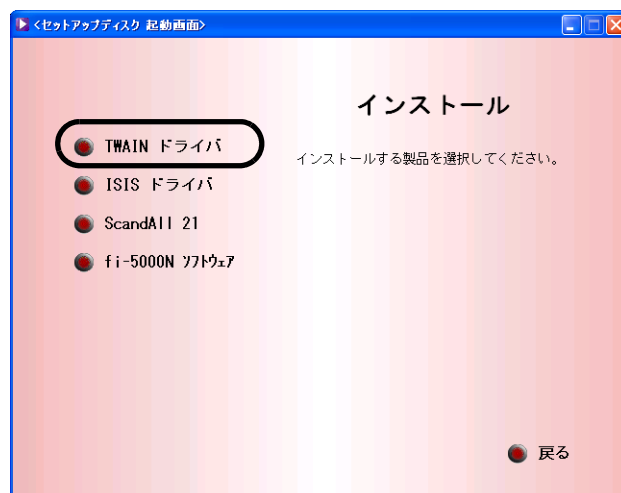
以上で、初期化は完了です。続けて本体の設定をおこなってください。

(設定方法については、「3.3 fi-5000N のネットワーク設定」(14 ページ)を参照してください。)

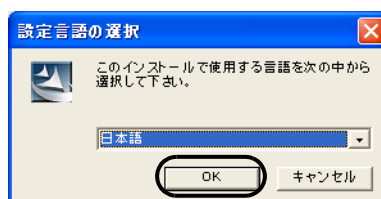
3. [インストール] ボタンをクリックします。



4. 以下の画面で、[TWAIN ドライバ] ボタンをクリックします。

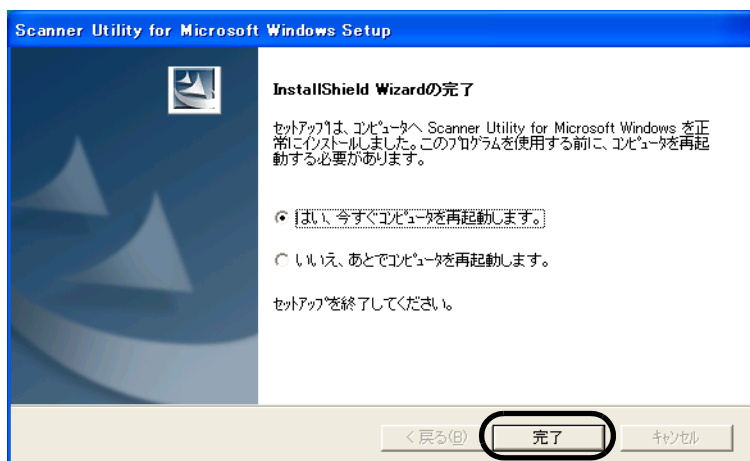


5. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



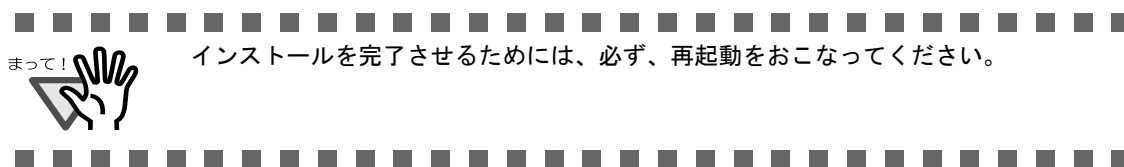
6. 表示される画面指示にしたがってインストールします。

7. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。



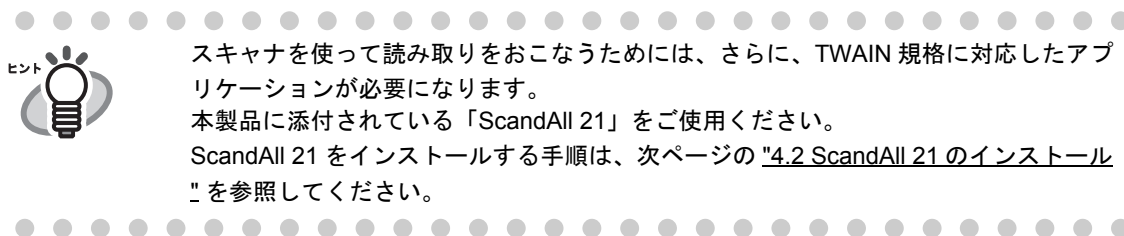
⇒ システムが再起動されます。

再起動が完全に終わるまで Setup CD-ROM を取り出さないでください。



インストールを完了させるためには、必ず、再起動をおこなってください。

これで、スキャナドライバのインストールは終了です。

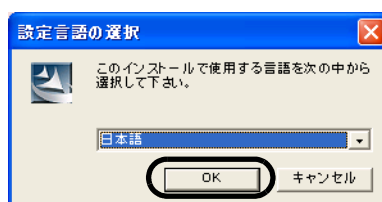


スキャナを使って読み取りをおこなうためには、さらに、TWAIN 規格に対応したアプリケーションが必要になります。

本製品に添付されている「ScandAll 21」をご使用ください。

ScandAll 21 をインストールする手順は、次ページの "[4.2 ScandAll 21 のインストール](#)" を参照してください。

4. 「設定言語の選択」画面で、インストール時に使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



5. 画面の指示にしたがってインストールします。
6. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

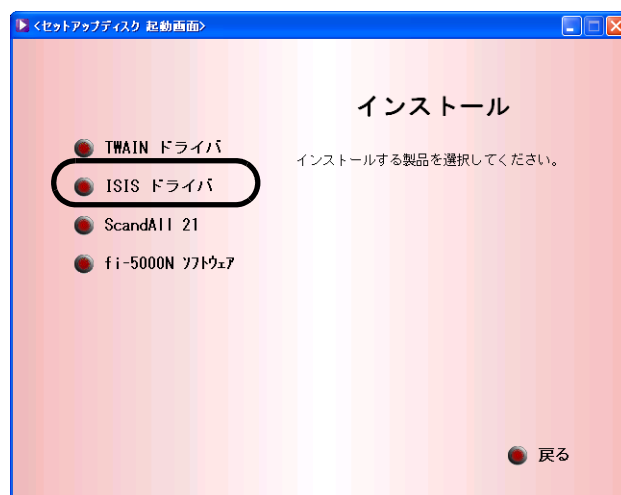


ここで再起動が必要な場合があります。画面の指示にしたがってください。

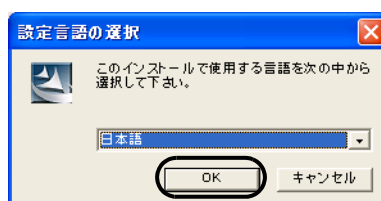
3. [インストール] ボタンをクリックします。



4. 以下の画面で、[ISIS ドライバ] ボタンをクリックします。

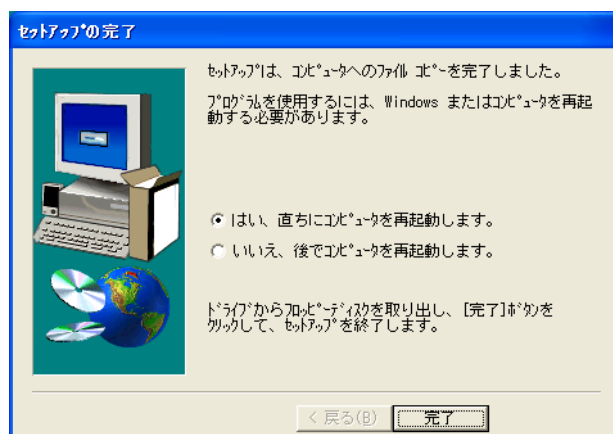


5. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



6. 表示される画面指示にしたがってインストールします。

7. インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。



⇒ システムが再起動されます。

再起動が完全に終わるまで **Setup CD-ROM** を取り出さないでください。

これで、スキャナドライバのインストールは終了です。



ヒント

スキャナを使って読み取りをおこなうためには、さらに、ISIS 規格に対応したアプリケーションが必要になります。
スキャナ装置に添付されている「QuickScan Pro™」をインストールしてご使用いただけます。

4.4 アプリケーションの設定

スキャナから読み取りをおこなうためには、読み取りに使用するアプリケーションで、スキャナを選択しておく必要があります。

以下に、スキャナの選択方法について、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバの場合と、FUJITSU ISIS スキャナドライバの場合に分けて説明します。



アプリケーションによっては、選択方法が、以下の説明と多少異なる場合があります。詳しくは、ご使用のアプリケーションの取扱説明書もしくは、ヘルプを参照してください。

■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバの場合

「ScandAll 21」の場合を例にして説明します。

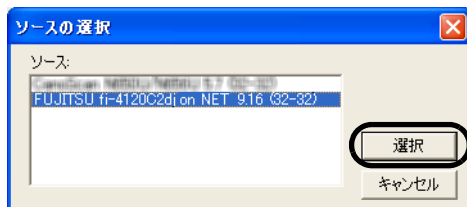
1. アプリケーションを起動します。

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Scanner Utility for Microsoft Windows] → [ScandAll 21] を選択します。

2. メニューから、スキャナの選択画面を表示します。

[スキャン] → [スキャナの選択] を選択します。

3. 使用するスキャナを選択します。



fi-5000N に接続されたスキャナは、「FUJITSU」+「装置名」+「on NET」... という名前で表示されますので、選択して [選択] ボタンをクリックします。

以上で、スキャナの選択が完了しました。

スキャナをコンピュータに直接接続して使用するのと同じように、アプリケーションから読み取りをおこなうことができます。(プル読み取り)



使用するスキャナは fi-5000N 設定ツールのスキャナ選択タブにて、お気に入りに設定しておいてください。お気に入りに設定したスキャナ名が表示されます。"5.2 fi-5000N ソフトウェア概要" を参照。

プル読み取りの認証設定が「する」になっているとユーザー認証操作が必要となります。指紋またはユーザー暗証番号による認証操作をおこなってください。(設定を変える場合は「3.7 プル読み取り時の指紋認証設定」を参照してください。)



原稿の読み取り方法や、読み取り条件の設定については、スキャナ装置に添付されている「オペレーターガイド」、「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ 取扱説明書」、または、「ScandAll 21 ヘルプ」を参照してください。

■ FUJITSU ISIS スキャナドライバの場合

「QuickScan Pro™」の場合を例にして説明します。

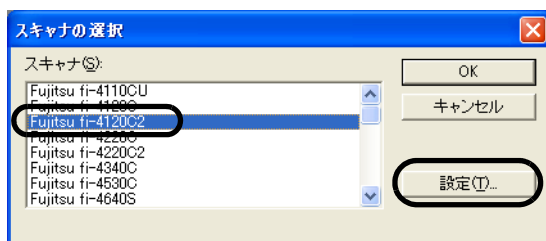
1. アプリケーションを起動します。

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [QuickScan] → [QuickScan] を選択します。

2. メニューから、スキャナの選択画面を表示します。

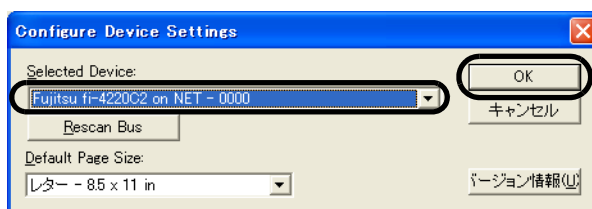
[スキャン] → [スキャナの選択] を選択します。

3. 使用するスキャナを選択します。



スキャナ名が、「FUJITSU」+「装置名」... という名前が表示されますので、接続されているスキャナ名を選択して [設定] ボタンをクリックします。


⇒以下の画面が表示されます。




「FUJITSU」+「装置名」+「on NET」... という名前が表示されるので、選択して、[OK] ボタンをクリックします。

以上で、スキャナの選択が完了しました。

スキャナをコンピュータに直接接続して使用すると同じように、アプリケーションから読み取りをおこなうことができます。(プル読み取り)

まっぴー!  使用するスキャナは fi-5000N 設定ツールのスキャナ選択タブにて、お気に入りに設定しておいてください。お気に入りに設定したスキャナ名が表示されます。プル読み取りの認証設定が「する」になっているとユーザー認証操作が必要となります。指紋またはユーザー暗証番号による認証操作をおこなってください。(設定を変える場合は「3.7 プル読み取り時の指紋認証設定」を参照してください。)

ヒント  原稿の読み取り方法や、読み取り条件の設定については、スキャナ装置に添付されている「オペレーターガイド」、または、「QuickScan ヘルプ」を参照してください。

4.5 スキャナドライバおよびアプリケーションのアンインストール

スキャナドライバ (FUJITSU TWAIN / FUJITSU ISIS) および、アプリケーション (ScanAll 21) をアンインストールする場合は、次のように操作します。

1. パソコンを起動します。
コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログオンしてください。
2. 動作してるアプリケーションをすべて終了します。
3. [スタート]メニューから、[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]を選択します。
⇒「プログラムの追加と削除」の画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。
4. 削除するプログラムを選択します。
 - ① FUJITSU TWAIN を削除する場合
「**Scanner Utility for Microsoft Windows**」を選択してください。
 - ② ScandAll 21 を削除する場合
「**ScandAll 21**」を選択してください。
 - ③ FUJITSU ISIS を削除する場合
「**Fujitsu ISIS Drivers**」を選択してください。
5. [変更と削除] ボタンをクリックします。
⇒「アンインストールの確認」の画面が表示されます。
6. [OK] ボタンをクリックします。
⇒アンインストールが実行されます。
7. アンインストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックして画面を閉じます。



ご使用のオペレーティングシステム (OS) によっては、画面表示が多少異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。

例：Windows 2000 の場合

- 「プログラムの追加と削除」→「アプリケーションの追加と削除」
- [変更と削除] ボタン → [追加と削除] ボタン

第5章



fi-5000N ソフトウェア

ネットワーク上に接続された fi-5000N を、ご使用のコンピュータから管理したり、fi-5000N に接続されたスキャナを使った読み取りをおこなうためには、「fi-5000N ソフトウェア」を運用管理者用コンピュータ、およびスキャナを利用するユーザー用コンピュータにそれぞれインストールする必要があります。
本章では、fi-5000N ソフトウェアのインストール手順、および、操作方法について説明します。

| | |
|-----------------------------------|----|
| 5.1 fi-5000N ソフトウェアのインストール..... | 40 |
| 5.2 fi-5000N ソフトウェア概要..... | 44 |
| 5.3 fi-5000N の追加と削除..... | 47 |
| 5.4 fi-5000N ユーザー情報管理..... | 50 |
| 5.5 fi-5000N 管理者設定..... | 55 |
| 5.6 スキャナ情報管理..... | 58 |
| 5.7 起動オプションの設定..... | 63 |
| 5.8 fi-5000N ソフトウェアのアンインストール..... | 66 |

5.1 fi-5000N ソフトウェアのインストール

■ 準備

インストールを始める前に、以下の内容を確認してください。

- Setup CD-ROM を準備してください。

■ 動作環境

fi-5000N は、以下のシステムにインストール可能です。

オペレーティングシステム

- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Vista® Business operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版 (32/64 ビット版)
- Microsoft® Windows Server™ 2008 Standard Edition operating system 日本語版 (32/64 ビット版)

メモリ

128MB 以上

■ インストール



ヒント

Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

1. コンピュータの電源を入れて、Windows にログオンします。



まって!

- 対応スキャナの追加や改善のため、fi-5000N ソフトウェアを改版することがあります。最新版の fi-5000N ソフトウェアについては、当社ホームページを参照してください。
- コンピュータの管理者権限を持つユーザでログオンしてください。

2. Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。

⇒ <セットアップディスク起動画面>が表示されます。



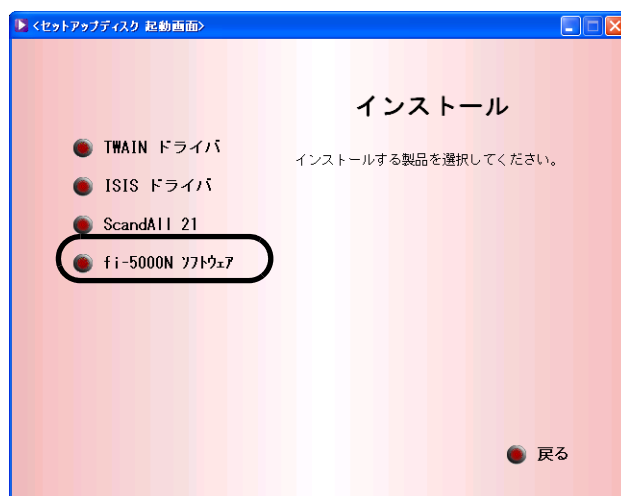
まって!

お使いのコンピュータの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面>が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータを使って、CD-ROM 内の "Install.exe" を直接実行してください。

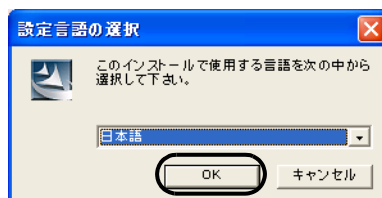
3. [インストール] ボタンをクリックします。



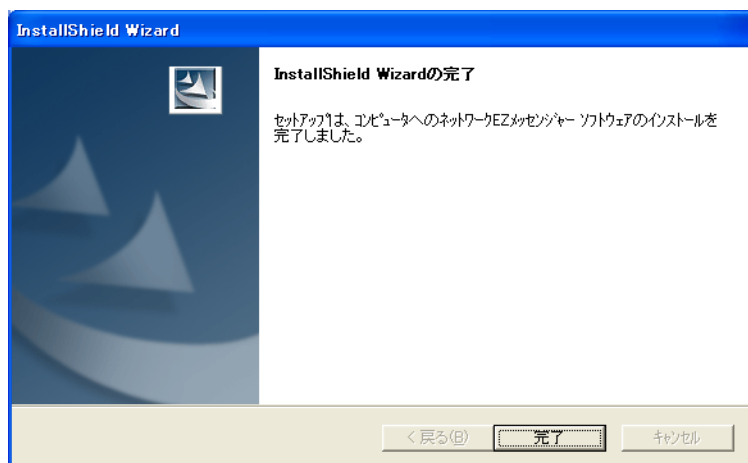
- 以下の画面で、[fi-5000N ソフトウェア] ボタンをクリックします。



- 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



- 表示される画面指示にしたがってインストールします。
- インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

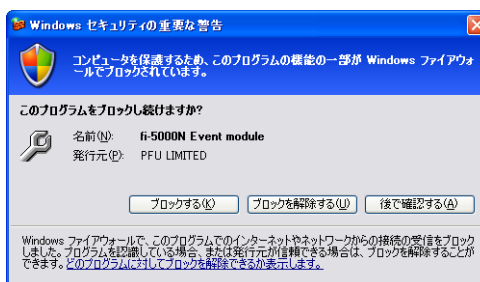


これで、fi-5000N ソフトウェアのインストールは終了です。



Windows XP Service Pack 2 において、fi-5000N ソフトウェアのインストール完了後に、「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されることがあります。本プログラム (fi-5000N Event Module) に対して [ブロックを解除する] を選択してください。[ブロックする] を選択した場合、fi-5000N と通信を行うことができません。[ブロックする] を選択した場合は、「Windows ファイアウォール」の [例外] タブの「プログラムおよびサービス」に登録されている「fi-5000N Event module」にチェックしてください。

[後で確認する] を選択した場合は、「Administrator」の権限を持つユーザーで再ログインしたときに同じ画面が表示されますので、[ブロックを解除する] を選択してください。



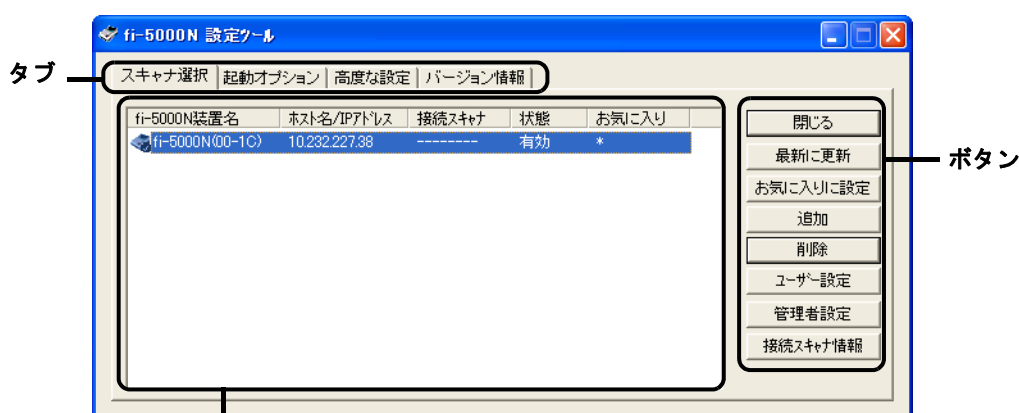
5.2 fi-5000N ソフトウェア概要

■ fi-5000N 設定ツールの起動

fi-5000N ソフトウェアを起動するには、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [fi-5000N ソフトウェア] → [fi-5000N 設定ツール] を選択します。

■ [スキャナ選択] タブ (メイン画面)

この画面 ([スキャナ選択] タブを選択した状態) をメイン画面といいます。この画面から fi-5000N の各種管理設定をおこなうことができます。



一覧表示

ネットワーク上に接続された fi-5000N、およびそのネットワーク情報や状態が表示されます。

| 項目名 | 機能 |
|----------------|---|
| [閉じる] ボタン | 画面を閉じて、fi-5000N 設定ツールを終了します |
| [最新に更新] ボタン | 一覧表示の内容を、更新して最新の情報を表示します。 |
| [お気に入りに設定] ボタン | ネットワーク上に接続されたスキャナの中から、読み取りに使用するスキャナを選択します。 装置名を選択した状態で、このボタンをクリックすると、「お気に入り」欄に「*」が表示され、通常使うスキャナとして設定されます。 複数のスキャナを切り替えて使う場合に有効です。 |
| [追加] ボタン | 一覧表示に、新しい fi-5000N を追加します。 コンピュータと同じサブネット内の fi-5000N は自動的に一覧表示されるので、追加する必要がありません。別のサブネットにある fi-5000N を表示させる場合に、このボタンを使用します。 |
| [削除] ボタン | 選択した fi-5000N を、一覧表示から削除します。 (同じサブネット内の fi-5000N は削除できません。) |
| [ユーザー設定] ボタン | 選択した fi-5000N に対して、ユーザーの登録/変更/削除をおこないます。 運用管理者専用です。管理者用暗証番号が必要となります。 |

| 項目名 | 機能 |
|----------------|--|
| [管理者設定] ボタン | 選択した fi-5000N の名称、ネットワーク設定、管理者用暗証番号の変更をおこないます。またユーザー情報のバックアップ・リストアもおこないます。運用管理者専用です。管理者用暗証番号が必要となります。 |
| [接続スキャナ情報] ボタン | 選択した fi-5000N に接続されているスキャナの情報を表示します。(管理者・ユーザー共通) また、消耗品カウンタのクリアや、オフセット調整、省エネ設定をおこなうことができます (管理者のみ)。 |

■ [起動オプション] タブ

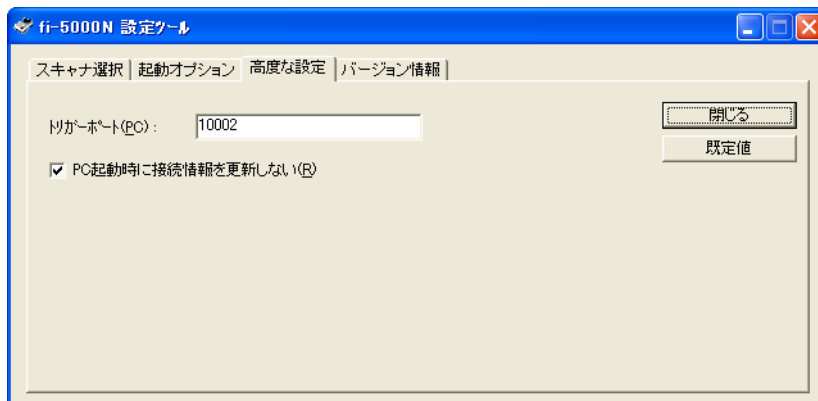
この画面からスキャナ上のボタン ([Scan] または、[Send To]) によるアプリケーションの設定をおこないます。



| 項目名 | 機能 |
|----------|---|
| ボタン : | 「Scan」、「Send To 1」～「Send To 9」の中から、設定するボタンを選択します。ボタンに対して、以下の「リンク先」「引数」「作業フォルダ」を設定しないと、ボタンを押しても何も起動しません。 |
| リンク先 : | 起動するアプリケーションのファイル名を指定します。 |
| 引数 : | 起動するアプリケーションの仕様に従って設定してください。 なお、ScandAll 21 を使用する場合は、「5.7 起動オプションの設定」(63 ページ) を参照してください。 |
| 作業フォルダ : | 起動するアプリケーションの仕様に従って設定してください。 なお、ScandAll 21 を使用する場合は、イメージファイルを作成する際の作業フォルダを指定します。 |

■ [高度な設定] タブ

本ソフトウェアをインストールし、イメージを受信する際に、fi-5000N のポート番号とすでにコンピュータにインストールされているソフトウェアなどの利用ポートが競合した場合に、コンピュータのポート番号を変更する際に使用します。



| 項目名 | 機能 |
|-------------------|---|
| トリガーポート (PC) : | 本装置とコンピュータ間の通信に利用するポート番号を指定します。 |
| [既定値] ボタン | ポート番号をデフォルト値に戻します。 |
| PC 起動時に接続情報を更新しない | PC 起動時にネットワーク上に接続された fi-5000N の情報を更新しません。 DHCP 環境などで IP アドレスが変わる場合は本チェックを外してください。もしくは、変更の度に fi-5000N 設定ツールを起動して、情報を更新してください。 |

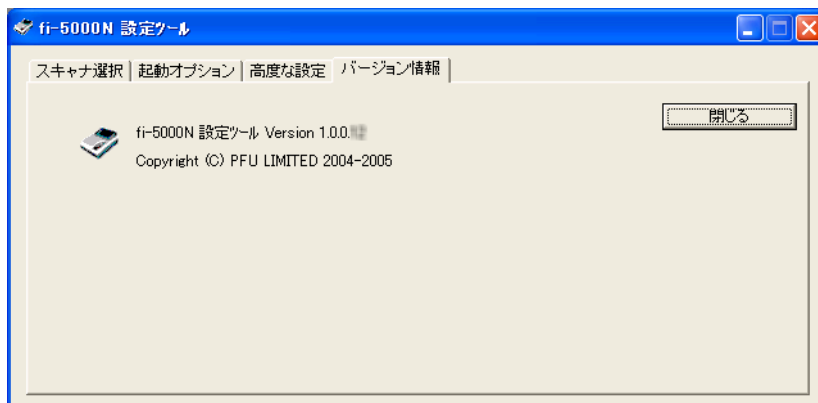


まって!

コンピュータ側のポート番号を変更する場合は、「管理者設定」から fi-5000N 本体側のポート番号も同時変更して下さい。(「5.5 fi-5000N 管理者設定」(55 ページ) 参照) ポート番号を同時に変更しなければ正常に動作しなくなります。

■ [バージョン情報] タブ

fi-5000N 設定ツール (本ソフトウェア) のバージョン情報を表示します。

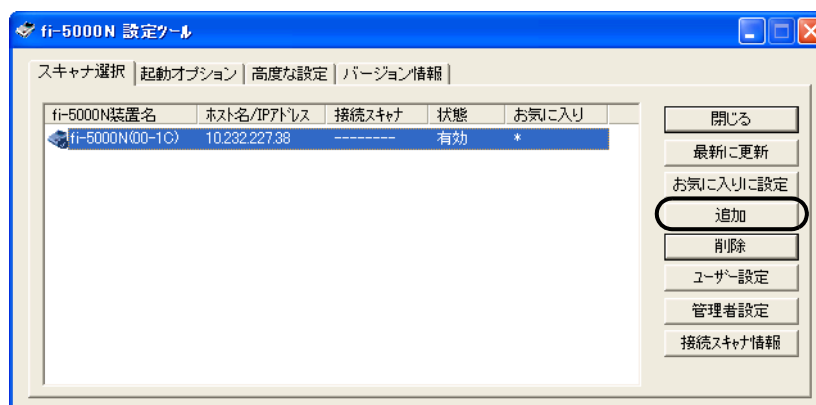


5.3 fi-5000N の追加と削除

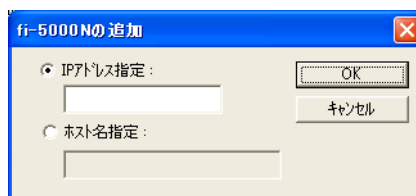
fi-5000N が、コンピュータと同じサブネット内にある場合は、自動認識されて一覧表示されますが、別のサブネットにある場合は、以下の手動で追加／削除をおこないます。

■ fi-5000N の追加

1. fi-5000N ソフトウェアのメイン画面の [追加] ボタンをクリックします。



2. 追加する fi-5000N を IP アドレスまたは、ホスト名で指定します。



「IP アドレス指定:」または「ホスト名指定:」のいずれかを選択し、必要事項を入力してください。

入力例) IP アドレス指定: 192.168.1.100

ホスト名指定: fi-5000N-00-01.fi-domain.xx.jp



DNS 自動更新 (ダイナミック DNS) に対応していない DNS サーバおよび DHCP サーバでは、IP アドレス設定に DHCP を指定した場合、「ホスト名解決の問題」が発生することがあります。

ネットワーク管理者に相談の上、以下のいずれかの方法にて対処してください。

fi-5000N について

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くする。
- 3) 固定 IP 設定に切り替える。

ホストコンピュータについて

- 1) DNS 自動更新に対応した DNS サーバおよび DHCP サーバを使用する。
- 2) DHCP サーバ側の設定において IP アドレスのリース期間を長くし
DNS サーバにコンピュータ名を登録する。
- 3) 固定 IP 設定に切り替える。

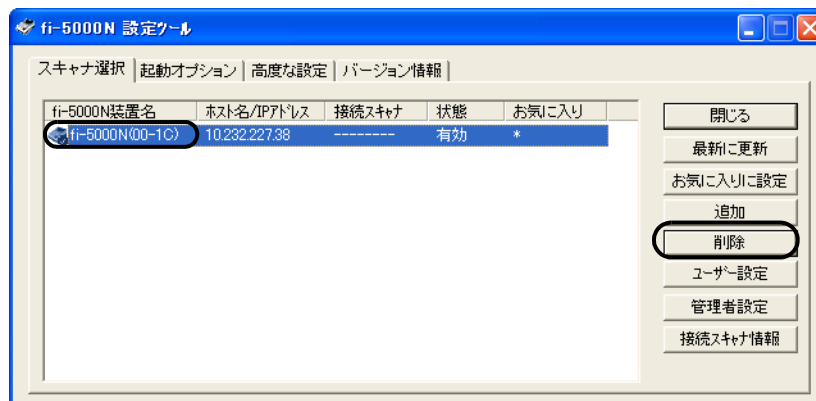
3. [OK] ボタンをクリックします。



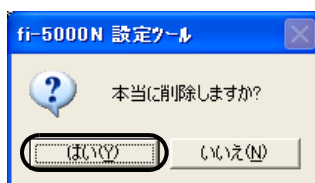
サブネット内にある場合は、自動的に検出されるので、手動で追加する必要はありません。

■ fi-5000N の削除

1. fi-5000N ソフトウェアのメイン画面の一覧表示から、削除したい fi-5000N を選択します。



2. [削除] ボタンをクリックします。
3. 確認メッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。



ヒント

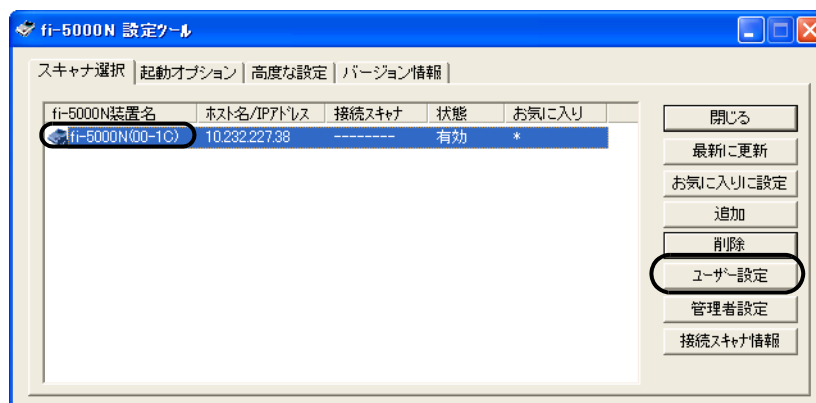
同一サブネット内にある fi-5000N は、削除できません。

5.4 fi-5000N ユーザー情報管理

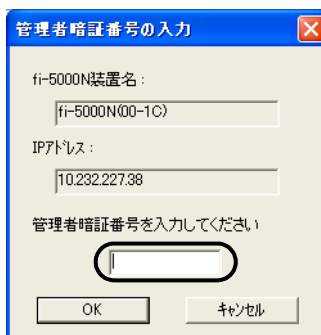
ユーザー設定機能を用いて、fi-5000N を使用するユーザーの情報を fi-5000N 本体に登録したり、変更／削除することができます。
使用するには、管理者用暗証番号が必要です。

■ 起動方法

1. fi-5000N ソフトウェアのメイン画面で、一覧表示から fi-5000N を選択し、[ユーザー設定] ボタンをクリックします。



2. 以下の画面が表示されるので、管理者暗証番号を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント

管理者用暗証番号のデフォルトは、“5000”です。
「管理者設定ツール」を使用して、変更することができます。
詳細は、「5.5 fi-5000N 管理者設定」(55 ページ)を参照してください。

■ ユーザー情報の変更

以下の手順で、登録したユーザー情報を変更することができます。

1. 一覧表示から、変更したいユーザー名を選択（クリック）します。

| ユーザーID | ユーザー名 | ホスト名/IPアドレス |
|--------|--------|---------------|
| 1 | user01 | 10.232.220.12 |
| 2 | user02 | 10.232.220.13 |
| 3 | user03 | 10.232.220.14 |
| 4 | user04 | 10.232.220.15 |
| 5 | user05 | 10.232.220.16 |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| n | | |

2. 「ユーザー名：」欄に選択したユーザー名が表示されるので、「新しい暗証番号：」、「ホスト名 /IP アドレス：」のいずれかを変更して、「実行」ボタンをクリックします。

| | |
|----------------|---|
| 新しい暗証番号： | ユーザー用の暗証番号を 6 桁以内にて記入します。空白は設定不可です。 |
| ホスト名 /IP アドレス： | ユーザーが使用するコンピュータの IP アドレスまたはホスト名を入力します。空白の設定は不可です。 入力例) IP アドレス指定：192.168.1.100 ホスト名指定： fi-5000N-00-01.fi-domain.xx.jp |



ユーザー ID およびユーザー名は変更できません。

3. 確認画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

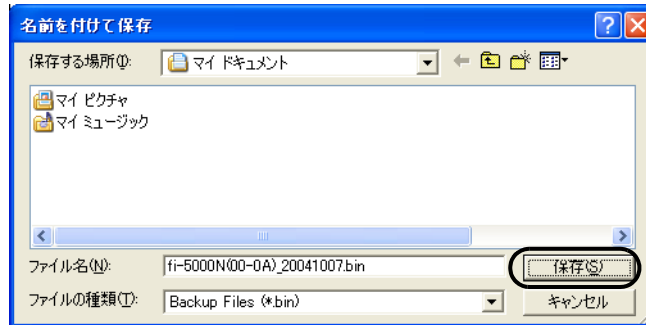
■ ユーザー情報の削除

以下の手順で、登録したユーザー情報を削除することができます。

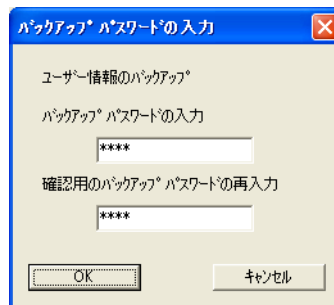
1. 一覧表示から、削除したいユーザー名を選択（クリック）します。
2. 「削除」ボタンをクリックします。
3. 確認画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

■ ユーザー情報のバックアップ

1. [バックアップ] ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されるので、保存先とファイル名を指定して [保存] ボタンをクリックします。



3. 保存するファイルに対してパスワードを設定する画面が表示されます。パスワードを、半角文字 16 文字以内で入力してください。(確認用にもう一度パスワードを入力してください。)

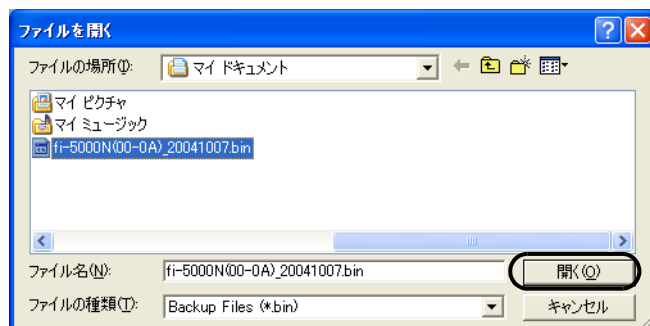


本パスワードは、復元するときにも必要になります。忘れると、バックアップしたデータが復元できなくなりますので、ご注意ください。

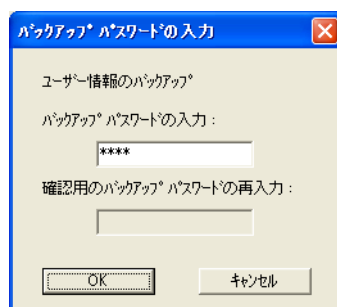
4. [OK] ボタンをクリックします。
⇒ユーザー情報がファイルに保存されます。

■ ユーザー情報の復元

1. [リストア] ボタンをクリックします。
2. バックアップで作成したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。



3. パスワードを確認する画面が表示されます。
バックアップ時に設定したパスワードを入力してください。



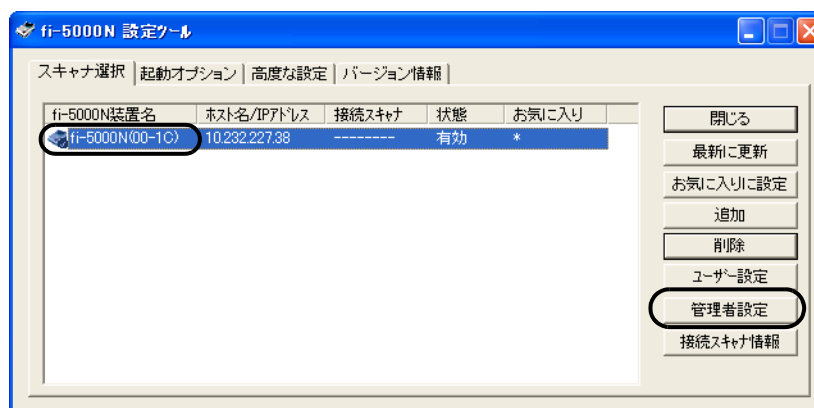
4. 「OK」 ボタンをクリックします。
⇒ユーザー情報が、ファイルから復元されます。

5.5 fi-5000N 管理者設定

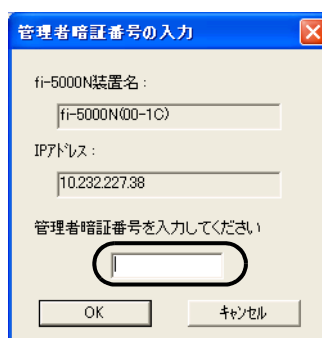
管理者設定機能を用いて、管理者が fi-5000N の装置情報を確認／変更することができます。使用するには、管理者用暗証番号が必要です。

■ 起動方法

1. fi-5000N ソフトウェアのメイン画面で、一覧表示から fi-5000N を選択し、[管理者設定] ボタンをクリックします。



2. 以下の画面が表示されるので、管理者用暗証番号を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



ヒント

管理者用暗証番号のデフォルト値は、“5000”です。

⇒以下の画面が表示されます。

ネットワーク管理者設定

fi-5000Nの設定変更

名称: fi-5000N(00-1C)

ファームウェアバージョン: fi-5000N 0E00

IPアドレス: 10.232.227.38

サブネットマスク: 255 255 255 0

ゲートウェイアドレス: 10 232 227 1

プライマリDNS: 10 232 16 12

セカンダリDNS: 10 232 16 10

Mac アドレス: 00-80-17-17-00-1c

トリガーポート (2000-60000): 10002 既定

暗証番号の変更

新しい暗証番号: []

新しい暗証番号の確認: []

[実行] [閉じる]

以下の設定が可能です。

■ fi-5000N の名称変更

「名称:」に、現在選択されている fi-5000N の名称が表示されています。変更する場合は、以下の手順でおこないます。

1. 「fi-5000N の変更」にチェックをつけます。
2. エディットボックスに名前を入力します。
半角 20 文字以内で入力してください。
3. [実行] ボタンをクリックします。

■ fi-5000N のトリガーポート 変更

現在選択されている fi-5000N のトリガーポート番号が表示されています。変更する場合は、以下の手順でおこないます。

1. 「fi-5000N の設定変更」にチェックをつけます。
2. エディットボックスに番号を入力します。
番号は、2000 ~ 60000 の間に入力してください。デフォルト値は、10002 です。
3. [実行] ボタンをクリックします。

■ 管理者暗証番号の変更

管理者の暗証番号を変更することができます。変更する場合は、以下の手順で行います。

1. 「暗証番号の変更」にチェックをつけます。
2. エディットボックスに新しい暗証番号を入力します。
確認用に再度暗証番号を入力してください。
暗証番号は、数字のみ6桁以内で入力してください。
3. [実行] ボタンをクリックします。



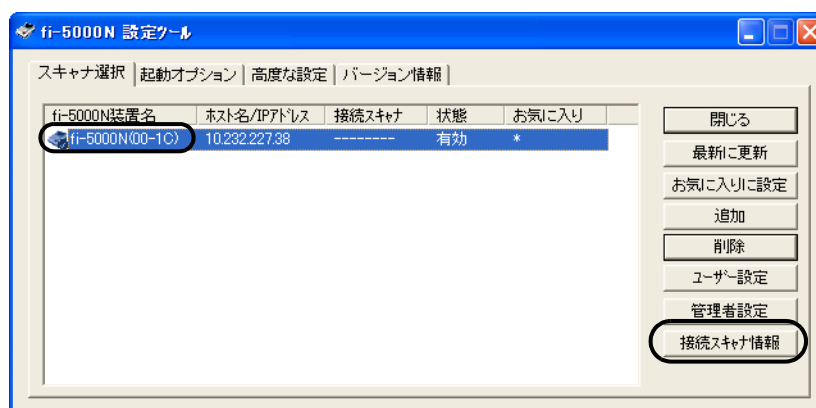
管理者用暗証番号とは fi-5000N、および fi-5000N ソフトウェアの管理者設定機能を使用する際に管理者であることを確認するために必要な暗証番号です。

5.6 スキャナ情報管理

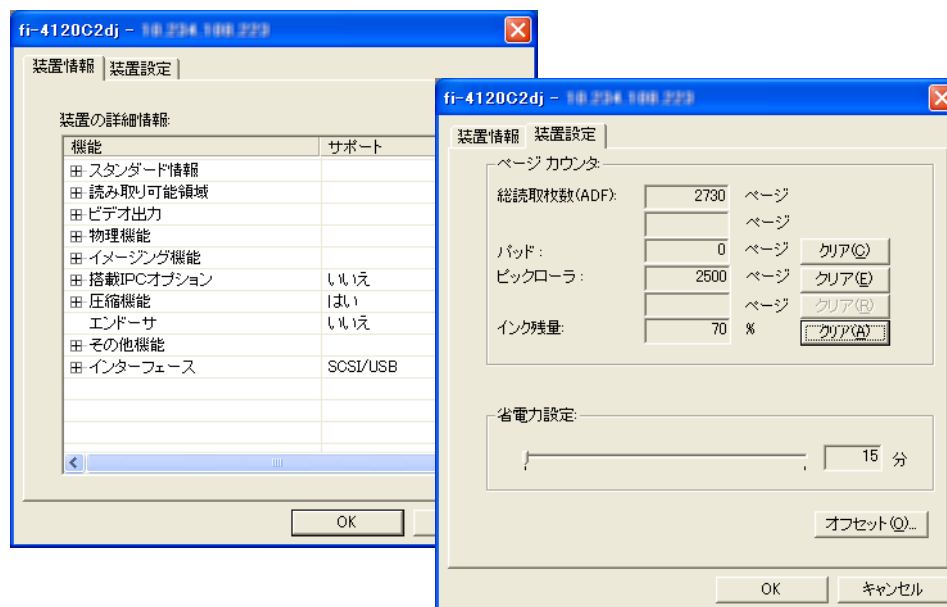
スキャナ情報管理機能を用いて、fi-5000N に接続されているスキャナの各種情報の表示、および消耗品カウンターのクリア、省電力モードの設定、オフセット調整を行うことができます。

■ 起動方法

1. fi-5000N ソフトウェアのメイン画面で、一覧表示から fi-5000N を選択し、[接続スキャナ情報] ボタンをクリックします。



⇒以下の画面が表示されます。

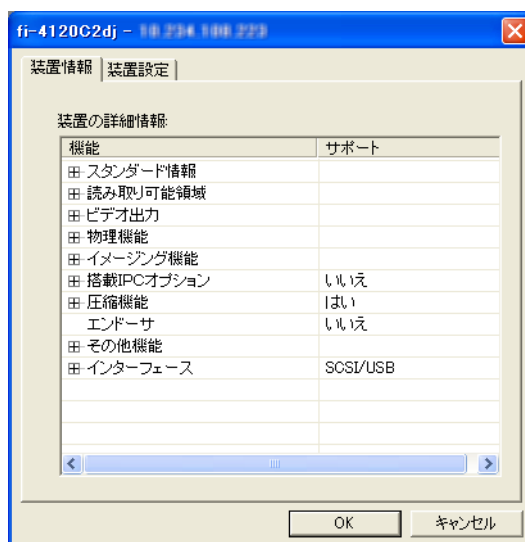


[装置設定] タブで設定を変更するためには、管理者用暗証番号が必要になります。

■ [装置情報] タブ

スキャナ装置が対応している機能一覧を表示します。

表示項目は、対象となる機種によって異なります。ただし本表示はハードウェア自身の機能であり、ソフトウェアで実現されている機能に関しては表示されていませんので、前述の読み取り時などに指定できる値とは一致しない場合があります。また、このタブは、スキャナ装置が使用中や接続されていない場合には表示されません。表示されない場合には、スキャナ使用中のアプリケーションを終了するか、接続を確認したあと、再度表示させてください。

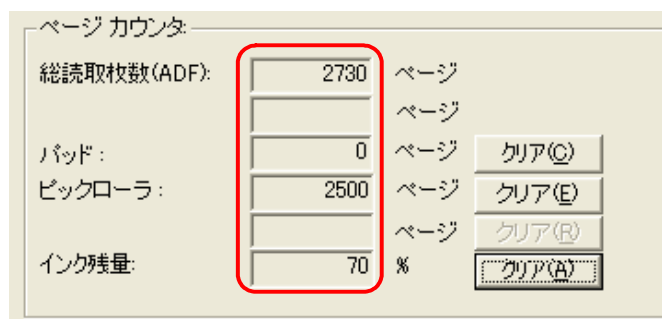


■ [装置設定] タブ

スキャナ装置の挙動や保守に関わる情報を表示、設定することができます。
ただし、装置によっては、表示されない場合や、設定できない項目（グレーアウト表示されます。）がある場合があります。
変更された設定は、[OK] ボタンをクリックした場合に装置に対して反映されます。
(設定を変更するためには、管理者用暗証番号が必要になります。)

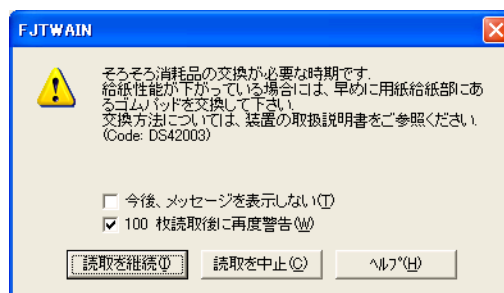


消耗品交換について



赤枠部に、消耗品を交換してから読み取りを行った概算枚数や、インプリンタ用インクの残量が表示されます。
消耗品を交換した後は、必ず、該当する [クリア] ボタンをクリックして、カウンタ値をリセットしてください。
消耗品の品名表示および個数はスキャナの機種により異なります。詳しくは、スキャナ添付のオペレーターガイドを参照してください。

また、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。



このメッセージが表示されたら、指示にしたがい以下の通り交換作業をおこなってください。

＜すぐに消耗品を交換する場合＞

1. 「今後メッセージを表示しない」※をチェックします。
2. 現在読み取り中の原稿をすべて読み取ってから交換する場合は、[読取を継続] ボタンを、読み取り作業を中断してすぐに交換する場合は、[読取を中断] ボタンをクリックします。
3. 装置の取扱説明書にしたがい、消耗品を交換します。
4. [装置設定] タブの [クリア] ボタンをクリックして、消耗品カウンタをリセットします。

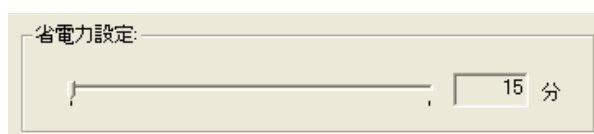
＜後で消耗品を交換する（すぐに交換できない）場合＞

1. 今後このメッセージを表示させないようにしたい場合は、「今後、メッセージを表示しない」※を、XXX 枚読み取り後に再度メッセージを表示させたい場合は、「xxx 枚読取後に再度警告」をチェックします。
2. 現在の読み取り作業を継続させたい場合は、[読取を継続] ボタンを、読み取り作業を中断する場合は、[読取を中断] ボタンをクリックします。
3. 次にこのメッセージが表示された時、あるいはそれ以前にできるだけ早く消耗品交換をおこなうようにしてください。
4. [装置設定] タブの [クリア] ボタンを押して、消耗品カウンタをリセットします。

(※「今後、メッセージを表示しない」をチェックすると、消耗品カウンタをリセットするまで、本メッセージは二度と表示されませんのでご注意ください。)

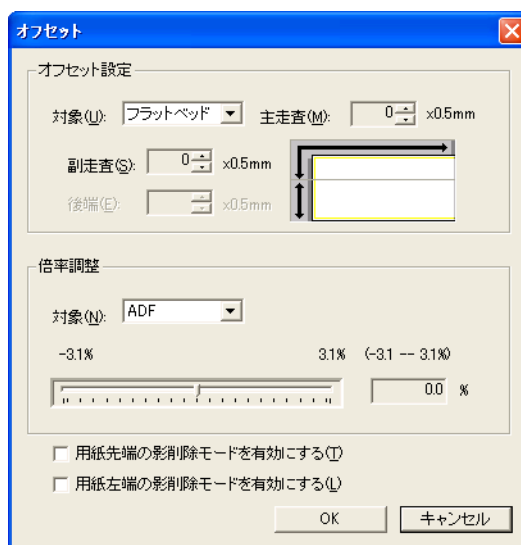
省電力設定について

読み取りをおこなった後、ランプを消灯するまでの時間を指定します。
※スキャナの機種によって、設定可能範囲が異なります。



オフセットおよび倍率調整について

[オフセット] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



この画面では、先頭位置のオフセット量および、副走査方向の倍率などを変更することができます。

オフセット設定

読み取りを行い、原稿と実際に読み取られている位置が異なる場合に、微調整をおこなうことができます。

出荷時には、ある範囲の中で最適な値に調整されていますので、通常は、調整して頂く必要はありません。

※変更できる最大サイズは、装置により異なります。

- 用紙先端の影削除モードを有効にする
- 用紙左端の影削除モードを有効にする

フラットベッド使用時に、原稿先端及び左端に発生する影を削除するモードを選択することができます。

※装置によっては、表示されない場合があります。

倍率調整

副走査方向の倍率補正值を変更することができます。

ADF の場合は、出荷時の設定値を基準に、ADF 読み取り時の原稿搬送方向に対して拡大／縮小をおこないます。

フラットベッドの場合は、出荷時の設定値を基準に、読み取りヘッドの移動方向に対して拡大／縮小をおこないます。

(読み取った画像の縦横比が、原稿に対して異なって見える場合に、その調整に使用します。)

※設定範囲は装置により異なります。

5.7 起動オプションの設定

[起動オプション] タブで指定する引数は、起動するアプリケーションの仕様によって設定してください。

なお、本記事は、本製品に添付されている「ScandAll 21」を使用する場合の設定例について記載しています。

[起動オプション] タブから、スキャナ上のボタン ([Scan] / [Send to]) を押したときに起動させるアプリケーションを設定することができます。

設定によっては、自動的にスキャナ読み取りをおこない、読み取った画像をファイルに保存させたり、画面に表示させたりすることができます。

「ScandAll 21」には、FUJITSU イメージスキャナ fi シリーズに最適化された引数が用意されています。

ScandAll 21 を使えば、ボタンによる 1 プッシュ操作を手軽に体感することができます。

以下のような引数があります。

| | |
|---------------|--|
| /ScanToFile | 読み取った画像をファイルに保存します。 |
| /ScanToView | 読み取った画像をコンピュータの画面上に表示します。 |
| /Exit | 読み取り後にアプリケーションを終了します。(ScanToFile のみ有効) |
| /PROGRES:0 | FUJITSU TWAIN32 のプログレスインジケータを非表示にします。 |
| /SHOWUI:X | FUJITSU TWAIN32 の設定画面の表示を指定できます。 X=0: 非表示にします X=1: 強制表示します X=2: 画面にしたがいます |
| /SCANDEF:XX | FUJITSU TWAIN32 の設定ファイルを指定できます (XX=00 ~ 99)。 |
| /NOSCNER | FUJITSU TWAIN32 のエラーメッセージを非表示にします。 |
| /NOAPPERR | ScandAll 21 のエラーメッセージを非表示にします。 |
| /AppendToView | 表示されている画像に、読み取り画像を追加します。 |
| /NOOPDLG | [スキャン] - [オプション] 画面にて指定可能な以下の設定ダイアログの表示を行わないようにする。 ファイル設定ダイアログ FTP サーバ設定ダイアログ 印刷設定ダイアログ Microsoft SharePoint Portal Server 設定ダイアログ メール送信設定ダイアログ |



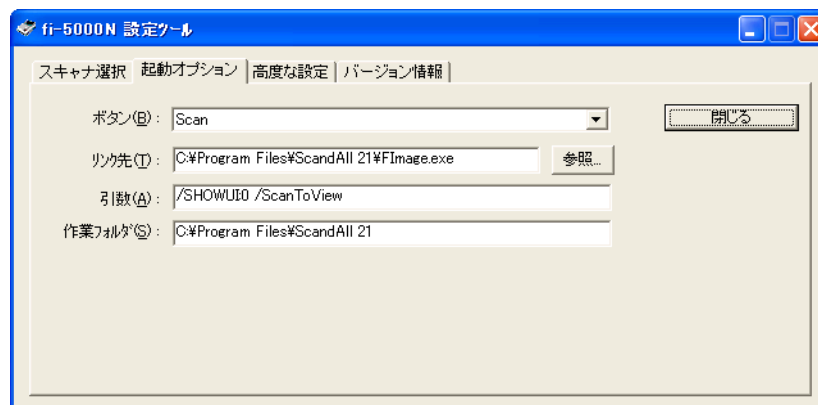
まって!

これらの引数は、複合して使用することもできます。

各引数のスラッシュ (/) の前に、必ずスペース () をひとつ入れてください。引数は半角文字のみ有効です。

また、引数の記載順序を変えても、処理結果に影響はありません。

ただし、「/AppendToView」は単独で記述する必要があります。「/AppendToView」に他の引数を組み合わせても無効となります。



例 1) [Scan] ボタンを押すと、ScandAll 21 が起動して、読み取りを開始し、読み取った画像を画面に表示する場合

| 項目名 | 設定 |
|---------|---|
| ボタン: | Scan |
| リンク先: | C: ¥ Program Files ¥ ScandAll 21 ¥ FImage.exe ※ |
| 引数: | /SHOWUI:0_ /ScanToView (_ は半角スペース) |
| 作業フォルダ: | C: ¥ Program Files ¥ ScandAll 21 ※ |

例 2) [Send to] ボタンを押すと、ScandAll 21 が起動して、読み取りを開始し、読み取った画像をファイルに保存する場合

| 項目名 | 設定 |
|---------|---|
| ボタン: | Send to 1 ※ |
| リンク先: | C: ¥ Program Files ¥ ScandAll 21 ¥ FImage.exe ※ |
| 引数: | /SHOWUI:0_ /ScanToFile (_ は半角スペース) |
| 作業フォルダ: | C: ¥ Program Files ¥ ScandAll 21 ※ |

※ リンク先、および作業フォルダは、ScandAll 21 のインストール先によって異なります。上記の例は、デフォルト設定の場合です。

[Send to] ボタンには、1～9の9種類の機能を割り当てることができます。スキャナの操作パネル上にある [Function] ボタンを押すことにより、「1」→「2」→…→「9」「C」→「1」→…の順に切り替えることができます。(「C」は、使用しません。)



ScandAll 21 側でも、以下の設定が必要となります。

< ScandAll 21 の起動 >

1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Scanner Utility for Microsoft Windows] → [ScandAll 21] を選択して、ScandAll 21 を起動します。

< スキャナの選択 >

2. メニューバーから、[スキャン] → [スキャナの選択] を選択します。
3. 「FUJITSU」+「装置名」+「on NET」...」を選択します。

< 読み取り条件の設定 >

4. メニューバーから、
例 1 の場合は [スキャン] → [画面に表示] を選択、
例 2 の場合は [スキャン] → [ファイルに保存] を選択します。
5. 例 2 の場合は、ファイル形式、保存先などを設定し、[スキャン] ボタンをクリックします。
6. 「TWAIN ドライバ」の画面が表示されるので、読み取り設定を行い、[閉じる] ボタンをクリックします。

< FUJITSU TWAIN32 の設定画面の非表示設定 >

スキャナ上の [Scan] / [Send to] ボタンを押したら、FUJITSU TWAIN32 の設定画面を表示することなく、読み取りを開始したいときは、以下の設定を行います。

(※引数「/SHOWUI:0」を指定した場合は、設定不要。)

7. メニューバーから、[スキャン] → [オプション] を選択します。
8. 「TWAIN ダイアログ」のチェックを外します。

< その他の設定画面の非表示設定 >

ScandAll 21 のその他の設定画面（ファイル設定ダイアログ、FTP サーバ設定ダイアログ、印刷設定ダイアログ、Microsoft SharePoint Portal Server 設定ダイアログ、メール送信設定ダイアログ）を表示させたくない場合は、以下の設定をおこないます。

(※引数「/NOOPDLG」を指定した場合は、設定不要。)

9. メニューバーから、[スキャン] → [オプション] を選択します。
10. 「その他のダイアログ」の中から、表示させたくないダイアログのチェックを外します。
例 2 の場合、「ファイル設定ダイアログ」のチェックを外すと、スキャナで読み取る度にファイル名を指定する必要がなくなります。（ただし、ファイル名にカウンタを入れる必要があります。）

※ ScandAll 21 の詳細設定については、「ScandAll 21 ヘルプ」を参照してください。

5.8 fi-5000N ソフトウェアのアンインストール

fi-5000N ソフトウェアをアンインストールする場合は、次のように操作します。

1. パソコンを起動します。
Windows 2000 または Windows XP をご使用の場合は、“Administrator” の権限（Microsoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版の場合は、コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。
2. 動作してるアプリケーションをすべて終了します。
3. [スタート]メニューから、[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]を選択します。
⇒「プログラムの追加と削除」の画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。
4. 「fi-5000N ソフトウェア」を選択します。
5. [変更と削除] ボタンをクリックします。
⇒「アンインストールの確認」の画面が表示されます。
6. [OK] ボタンをクリックします。
⇒アンインストールが実行されます。
7. アンインストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックして画面を閉じます。



ご使用のオペレーティングシステム（OS）によっては、画面表示が多少異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。

例：Windows 2000 の場合

- 「プログラムの追加と削除」→「アプリケーションの追加と削除」
- [変更と削除] ボタン → [追加と削除] ボタン

第6章

ユーザー認証機能

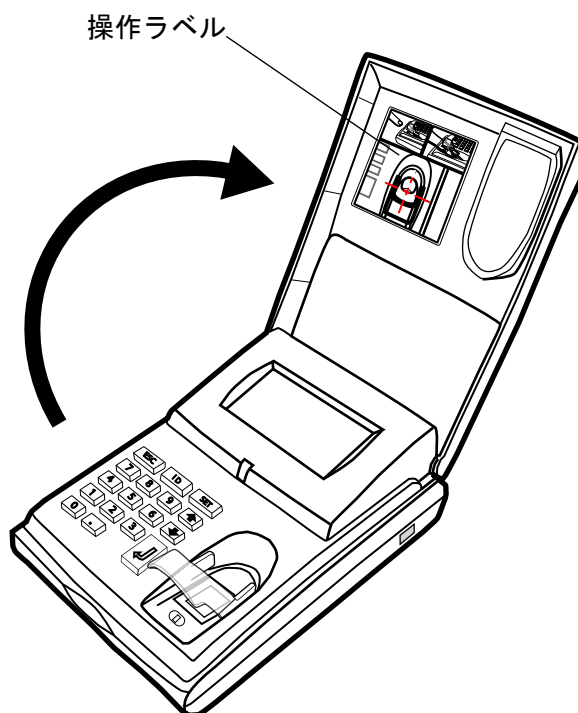
| | |
|-------------------|----|
| 6.1 指紋登録 | 68 |
| 6.2 指紋認証 | 72 |
| 6.3 暗証番号認証 | 73 |
| 6.4 暗証番号の変更 | 74 |

6.1 指紋登録

本装置の利用者として指名されたユーザーは、本装置に対し、各自の指紋情報を登録する必要があります。ただしユーザーの指紋情報登録は必須ではなく、怪我や身体的事情で登録をおこなうことができないユーザーでも、暗証番号を使うことにより、本装置を利用することができます。

ユーザーの指紋登録操作は本装置上で、以下の手順にしたがっておこないます。

1. fi-5000N のカバーを開きます。



fi-5000N のメッセージディスプレイに、「指紋センサーに指を置いてください」と表示されていることを確認してください。

指紋センサーに指を
置いてください

2. fi-5000N のメッセージ ディスプレイに「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で (=「ログアウト」状態)、[SET] キーを押します。

次の画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

3. 「指紋登録」を選択して [↵] (ENT) キーを押します。

fi-5000N に登録されているユーザーの一覧が表示されます。

ユーザー選択
 <ユーザー名>
 <ユーザー名>
 <ユーザー名>



まって!

fi-5000N に対するユーザーの登録は、あらかじめ管理者がおこないます。「fi-5000N ソフトウェア」を使って、管理者が登録したユーザー名がここに表示されます。詳しくは、「5.4 fi-5000N ユーザー情報管理」(50 ページ)を参照してください。

4. [↑]、[↓] キーを押して、登録されているユーザーの一覧から、指紋登録するユーザーを選択し、[↵] (ENT) キーを押します。



ヒント

以下のように、ユーザー ID 番号をキーボードから入力して、ユーザーを選択することもできます。

1. キーボードで、ログインしたいユーザー ID 番号を入力します。
2. [↵] (ENT) キーを押します。
⇒ユーザー名が、選択された状態で、画面に表示されます。
3. 再度、[↵] (ENT) キーを押します。

ユーザーの暗証番号入力画面が表示されます。

暗証番号 : _
 戻る : [ESC]

5. ユーザー登録で設定したユーザー用暗証番号を入力して、[↵] (ENT) キーを押します。暗証番号が設定したものと一致しないと、「暗証番号が違います」というメッセージが表示され、もう一度入力を求められます。

暗証番号が違います

また、すでに指紋登録済の場合、「指紋は登録済です。再登録しますか?」というメッセージが表示されます。再登録をする場合は [↵] (ENT) キーを、中止する場合は、[ESC] キーを押してください。

指紋は登録済です。
 再登録しますか?
 はい : [ENT] /
 いいえ : [ESC]



まって!

暗証番号の初期値は、管理者がユーザー登録をおこなう際に設定した値になっています。詳しくは、「5.4 fi-5000N ユーザー情報管理」(50 ページ)を参照してください。また、暗証番号は、ユーザーが変更することができます。変更方法については、「6.4 暗証番号の変更」(74 ページ)を参照してください。

暗証番号が一致すると、次のような画面になります。
カバー裏面の操作ラベルを参照して、正しい指の置き方を確認してください。
詳細については、「付録 指紋認証操作方法について」(AP-1 ページ)を参照してください。

指の置き方はカバー裏面の操作ラベルを見てください
OK: [ENT]

[←] (ENT) キーを押すと、以下の画面が表示されます。

指紋登録:
指紋センサーに指を置いてください

6. 指紋センサーの上に指を置きます。

指紋が正しく取れば、「ピッ」というピープ音とともに次のような画面になります。

処理中...
■□□
センサーから指を離してください。

7. 指紋センサーから指を離します。

次のような画面が表示されます。

指紋照合を2回行ないます。
指紋センサーに指を置いてください

8. 指紋照合（1回目）を行います。指紋センサーに指を置きます。

指紋照合がうまくいくと、次のようなメッセージが表示されます。

1回目の照合に成功しました

9. 指紋照合（2回目）を行います。指紋センサーに指を置きます。

2回目の指紋照合を行ないます。
指紋センサーに指を置いてください

2回目の指紋照合が終了すると、次のようなメッセージが表示されます。

2回目の照合に成功しました

さらに、指紋データ保存中を示すメッセージが表示されます。

指紋データを保存
しています...

引き続き次の登録完了メッセージが表示されます。

指紋登録が
完了しました
OK: [ENT]

これで指紋登録操作は完了です。[↵] (ENT) キーを押してください。

6.2 指紋認証

「ログアウト」状態から、システムの読み取り起動ができる状態に移行（＝ログイン）するために指紋認証を 사용합니다。

1. 「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で（＝「ログアウト」状態）本装置（fi-5000N）に登録した指を置きます。

指紋センサーに指を
置いてください



操作に慣れて正しく指紋認識できるようになった後は、指ガイドを外して使用することもできます。
取り外し方については、「付録 指紋認証操作方法について」(AP-1 ページ) を参照してください。

指が指紋センサーに置かれたことが検出されると次のメッセージが表示され、指紋の取得が開始されます。

指紋取り込み中...

2. 指紋の取得がうまくいくと「ピッ」というビープ音とともに次のメッセージが表示されるので、指を指紋センサーから離します。

照合中...

センサーから指を
離してください

3. 次に指紋照合が行なわれます。

指紋照合がうまくいくと、「ピッ」というビープ音とともに次のようなログイン画面になります。

fi-5000N に接続されたイメージスキャナに原稿をセットし、スキャナ上の [Scan] ボタン、あるいは [Send to] ボタンを押します。

<ユーザー名>
原稿をセットして
[Scan]/[Send to] を
押してください

6.3 暗証番号認証

登録している指を怪我していたり、極度に指が乾燥しているために指紋認証が利用できない場合の代替として暗証番号認証を装備しています。

1. 「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で (=「ログアウト」状態) カバーを開けて [ID] キーを押します。

ユーザー選択画面が次のように表示されます。

ユーザー選択
 <ユーザー名>
 <ユーザー名>
 <ユーザー名>

2. ログインしたいユーザーを [↑]、[↓] キーで選択し、[↵] (ENT) キーを押します。



以下のように、ユーザー ID 番号をキーボードから入力して、ユーザーを選択することもできます。

1. キーボードで、ログインしたいユーザー ID 番号を入力します。
2. [↵] (ENT) キーを押します。
⇒ユーザー名が、選択された状態で、画面に表示されます。
3. 再度、[↵] (ENT) キーを押します。

次の画面になり、暗証番号の入力が求められます。

暗証番号 : _
 戻る : [ESC]

3. ユーザーの暗証番号を入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

暗証番号が登録されたものと一致しないと、「暗証番号が違います」というメッセージが表示され、もう一度入力を求められます。

4. 暗証番号が一致していると、ログイン画面となります。

<ユーザー名>
 原稿をセットして
 [Scan]/[Send to]を
 押してください

6.4 暗証番号の変更

ユーザー暗証番号の初期値は、管理者によって設定されますが、その後ユーザーによって任意の値に変更することができます。

必要に応じて、以下の手順で変更してください。

1. 「指紋センサーに指を置いてください」が表示されている状態で (= 「ログアウト」状態)、カバーを開けて [SET] キーを押します。

「設定」画面が表示されます。

設定
指紋登録
暗証番号変更
Network 設定表示

2. [↓] キーで「暗証番号変更」を選択し、[↵] (ENT) キーを押します。

「ユーザー選択」画面が表示されます。

ユーザー選択
<ユーザー名>
<ユーザー名>
<ユーザー名>

3. ユーザー名を選択して、[↵] (ENT) キーを押します。

現在の暗証番号の入力画面が表示されます。

現在の暗証番号 :
_ 戻る : [ESC]

4. 現在の暗証番号を入力して、[↵] (ENT) キーを押します。

暗証番号が登録されたものと一致しないと、「暗証番号が違います」というメッセージが表示され、もう一度入力を求められます。

暗証番号が一致すると、新しい暗証番号入力画面が表示されます。

新しい暗証番号 :
_ 戻る : [ESC]

5. 新しい暗証番号を入力し、[↵] (ENT) キーを押します。

確認用を合わせて、2回入力します。

新しい暗証番号が登録されると、次の画面が表示されます。

暗証番号変更完了

これで新しい暗証番号に変更されました。

第7章



日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。




本装置を清掃する場合は、電源を切った後、AC アダプターをコンセントから抜いてからおこなってください。

| | |
|-------------------|----|
| 7.1 清掃用具 | 76 |
| 7.2 清掃箇所と頻度 | 77 |

7.1 清掃用具

清掃用具を以下に示します。

| 清掃用具 | 商品番号 | 備考 |
|--|--------------|---|
| クリーナ F1  | 0631151 (*1) | 1 ボトル (100 ml) 布にしみこませて清掃します。(*2) 印刷部・塗装部には、使用しないでください。 |
| 乾いた布 | 市販のもの | 清掃には、ほこりの出にくい、乾いた布またはウェス（ティッシュペーパーは不向きです）を使用してください。 |

*1) 大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよく拭き取ってください。

*2) 清掃用具の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、または富士通ワーク株式会社にお問い合わせください。

第8章



困ったときには

| | |
|--------------------------|----|
| 8.1 エラーメッセージと対処方法 | 80 |
| 8.2 困ったときには | 85 |
| 8.3 サービスセンターに連絡する前に..... | 88 |
| 8.4 装置ラベルの確認..... | 89 |

8.1 エラーメッセージと対処方法

fi-5000N にトラブルが発生すると、一時的なエラーまたは装置異常のメッセージが、メッセージディスプレイに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。

■ 一時的エラー：

記載内容の処置を行っても同じメッセージが表示される場合はサービス&サポートセンターにご連絡ください（RM-2 ページ）。

| メッセージ | 対処方法 |
|--|---|
| 指紋センサーが汚れています。 センサーを拭いて、本体を再起動してください。 | 指紋センサーが汚れています。 電源を切断し、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。 |
| スキャナが接続されていません | 以下を確認してください： <ul style="list-style-type: none"> スキャナの電源が入っていること USB ケーブルがスキャナに接続されていること USB ケーブルが切れていないこと |
| 未対応のデバイスが接続されています | 接続されているデバイスが fi スキャナであることを確認してください。 対応スキャナについては「9.1 装置基本仕様」を参照してください。 |
| ネットワークケーブルが接続されていません | 以下を確認してください： <ul style="list-style-type: none"> ネットワークに接続されていること ネットワークケーブル (LAN) が本装置に接続されていること ネットワークケーブル(LAN) が HUB 等に接続されていること HUB の電源が入っていること ネットワークケーブルが切れていないこと 正しいネットワークケーブルを使用していること (正：ストレートケーブル、誤：クロスケーブル) |
| IP アドレスが既に他の機器で使われています。 | 既に同じ IP アドレスが他の機器に使われている可能性があります。 ネットワーク管理者に確認し、いずれかの IP アドレスを変更してください。 |
| もう少し下に指を置いてください | 以下を確認してください： <ul style="list-style-type: none"> センサーの正しい位置に指を置いていること ※「付録 指紋認証操作方法について」の「指の位置の目安」を参考にしてください。 |
| もう少し上に指を置いてください | |
| もう少し右に指を置いてください | |
| もう少し左に指を置いてください | |
| 指紋が取得できませんでした。 センサーに正しく指を置いてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 付録「1. 指の置き方」を参照し、指紋センサーの正しい位置に指を置いていることを確認してください。 指紋取り込み中は、Beep 音が鳴るまで指を離さないでください。 |

| メッセージ | 対処方法 |
|---|---|
| 指紋取得失敗 指が濡れています。 指と指紋センサーを拭いてください | 指が濡れているため指紋の取り込みができません。 乾いたやわらかい布でセンサーを軽く拭いてください。また指紋センサーにのせる指も拭いてください。 |
| 指紋が登録されていません | ユーザーの指紋を登録してください。 (このメッセージは3秒後に消えログアウト状態に戻ります) |
| ユーザーが登録されていません | ユーザーが1人でも登録されているかを確認し、必要に応じて運用管理者に依頼しユーザー登録を行ってください。 (このメッセージは3秒後に消えログアウト状態に戻ります) |
| 入力された ID ナンバーに該当するユーザーはありません | ID ナンバーを確認し、正しい ID ナンバーを入力してください。 |
| 暗証番号が違います | 暗証番号を確認し、正しい暗証番号を入力してください。 |
| 確認の暗証番号が違ってきます | 暗証番号が間違っていないか確認してください。 |
| この指は登録されていません | 以下をおこなってください： <ul style="list-style-type: none"> ● 指の置き方を変えてみてください。 ● 登録ユーザーであるか暗証番号で確認します。 ● 登録済であれば違う指で登録されていないか確認します。 ● 指を（再）登録します。 |
| 指紋登録ができませんでした。 もう一度登録を行ってください。 | 付録「1. 指の置き方」を参照し、指紋センサーの正しい位置に指を置くようにして、指紋登録をもう一度行ってください。 |
| 指紋登録ができませんでした。別の指で登録を行ってください。 | 指紋登録に適さない指の状態（極端な乾燥、荒れ等）の可能性あります。別の指で指紋登録を行ってください。 |
| 指紋データの保存に失敗しました | 指紋登録をやりなおしてください。それでも失敗するようであれば電源を切断し再投入し指紋登録をやりなおしてください。 |
| IP アドレスとして正しくありません | 入力した IP アドレスが間違っていないか確認してください。 |
| サブネットマスクとして正しくありません | 入力したサブネットマスクが間違っていないか確認してください。 |
| ゲートウェイアドレスとして正しくありません | 入力したゲートウェイアドレスが間違っていないか確認してください。 |
| DNS サーバのアドレスとして正しくありません | 入力した DNS サーバのアドレスが間違っていないか確認してください。 |
| 送信先が使用中です。しばらく待って送りなおしてください | 送信先のコンピュータが他の fi-5000N との間でスキャナ読み取り動作を行なっています。読み取り動作が完了するのを待って送りなおしてください。 |
| DNS サーバが設定されていません | 装置の「ネットワーク設定」で、DNS サーバを設定してください。 |
| DNS サーバにアクセスできませんでした | 装置の「ネットワーク設定」で、DNS サーバのアドレスが正しいことを確認してください。 |

| メッセージ | 対処方法 |
|--------------------------------|--|
| ホストとの接続タイムアウトです | <ul style="list-style-type: none"> ● ログインしたユーザーに設定されている送信先のコンピュータが起動していることを確認してください。 ● ログインしたユーザーに設定されている送信先のコンピュータと fi-5000N とがネットワークで接続されていることを確認してください。 ● ログインしたユーザーに設定されている送信先のコンピュータに fi-5000N ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。 ● Windows XP Service Pack 2 以降において、「Windows ファイアウォール」の「例外」タブの「プログラムおよびサービス」に「fi-5000N Event module」が登録されていて、なおかつチェックボックスがチェックされていることを確認してください。チェックされていないときはチェックしてください。 「fi-5000N Event module」が登録されていないときは、「Administrator」の権限を持つユーザーで再ログインし、このプログラムのブロックの解除をおこなってください。 ● fi-5000N 側と送信先のコンピュータ側のトリガポートの設定が一致していることを確認してください。 |
| ホストの名前解決ができません | <p>ログインしたユーザーに設定されている送信先のホスト名が IP アドレスに変換できません。 送信先のホスト名の設定が間違っていないか確認してください。</p> |
| アプリケーションの起動に失敗しました OK:[ENT] | <p>fi-5000N 設定ツールの「起動オプション」タブの「リンク先」が正しく設定されていることを確認してください。</p> |
| DHCP サーバから IP アドレスを取得できませんでした | <p>DHCP サーバが正しく動作しているか、ネットワーク管理者に確認してください。 DHCP サーバが動作していない場合は、固定 IP アドレスの設定を行ってください。</p> |
| 原稿づまり | <p>読み取り中に、原稿づまりが発生しました。 スキャナ装置内につまっている原稿を取り除いてください。 fi-5000N のキーボードの [↵] (ENT) キーを押してください。 送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合は、その指示に従ってください。</p> |
| カバーオープン | <p>スキャナ装置の ADF 給紙シュート、ホッパもしくはインプリンタのカバーが開いています。 スキャナ装置の ADF 給紙シュート、ホッパおよびインプリンタが確実に閉じていることを確認してください。 fi-5000N のキーボードの [ENT] キーを押してください。 送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合はその指示に従ってください。</p> |

| メッセージ | 対処方法 |
|--------------|---|
| 用紙なし | スキャナ装置の ADF 給紙シュートもしくはホッパに原稿がありません。 ADF 給紙シュートもしくはホッパに原稿が正しくセットされているか確認してください。 fi-5000N のキーボードの [ENT] キーを押してください。 送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合はその指示に従ってください。 |
| マルチフィード | スキャナ読み取り動作中にマルチフィードが発生しました。スキャナ装置内の原稿を取り除き、マルチフィードの状態を解消してください。 fi-5000N のキーボードの [ENT] キーを押してください。送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合はその指示に従ってください。 |
| 輸送ロックエラー | 輸送ロックスイッチが解除位置（リリース位置）にあることを確認してください。 fi-5000N のキーボードの [ENT] キーを押してください。送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合はその指示に従ってください。 |
| プリントカートリッジなし | インプリンタのインクカートリッジが正しく取り付けられているか、また取り付け部が汚れていないか確認してください。 fi-5000N のキーボードの [ENT] キーを押してください。送信先の PC 上にエラーメッセージが表示されている場合はその指示に従ってください。 |

■ 装置異常（fi-5000N 本体）：

以下のメッセージがメッセージディスプレイに表示された場合は、スキャナ装置の装置異常が考えられます。装置異常が起こった場合は、スキャナ装置および fi-5000N 本体の電源をいったん切ってから、電源を入れ直してください。メッセージディスプレイに、同じメッセージが表示される場合は、スキャナ装置をお求めになった販売店、または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

| メッセージ | LED | 警告音回数 |
|--|---------|-------------|
| (何も表示されません) | 1 秒毎に点滅 | — |
| (何も表示されません) | 2 秒毎に点滅 | — |
| Memory Error Restart the device | — | — |
| Failure of loading program. Restart the device. | — | — |
| PCI 初期化エラー 本体を再起動してください。 | — | 1 回 (長音) |

| メッセージ | LED | 警告音回数 |
|---|-----|------------|
| MACROM Read Error Restart the device | — | 1回 (長音) |
| 指紋センサーのハードウェアエラーです。 本体を再起動してください。 | — | 1回 (長音) |
| 指紋センサーの初期化に失敗しました。 本体を再起動してください。 | — | 1回 (長音) |
| 指紋センサーのキャリブレーションに失敗しました。 本体を再起動してください。 | — | 2回 |
| ネットワーク設定に失敗しました。 本体を再起動してください。 | | 2回 |

■ 装置異常（スキャナ装置）：

以下のメッセージがメッセージディスプレイに表示された場合は、スキャナ装置の装置異常が考えられます。装置異常が起こった場合は、スキャナ装置および fi-5000N 本体の電源をいったん切ってから、電源を入れ直してください。メッセージディスプレイに、同じメッセージが表示される場合は、スキャナ装置をお求めになった販売店、または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

| No. | メッセージ | No. | メッセージ |
|-----|-----------------|-----|----------------|
| 1 | 両面読み 一時データ不足 | 16 | モータヒューズ異常 |
| 2 | EEPROM 異常 | 17 | ランプヒューズ異常 |
| 3 | モータヒューズ断 | 18 | 光量異常 (ADF 表面) |
| 4 | 裏当て切り替え異常 | 19 | 光量異常 (ADF 裏面) |
| 5 | 光量異常 | 20 | 光量異常 (フラットベッド) |
| 6 | インプリンタ異常 | 21 | ファン異常 |
| 7 | インプリンタ ヒューズ断 | 22 | オプションボード異常 |
| 8 | 駆動系異常 | | |
| 9 | メモリ異常 | | |
| 10 | センサー異常 | | |
| 11 | スキャナ内部通信異常 | | |
| 12 | LSI 異常 | | |
| 13 | ヒータ異常 (ADF 表面) | | |
| 14 | ヒータ異常 (ADF 裏面) | | |
| 15 | ヒータ異常 (フラットベッド) | | |

8.2 困ったときには

fi-5000N の使用中に発生するトラブルでエラーメッセージで通知される以外のトラブルとその対処方法について説明します。

修理を依頼する前に、まず以下を確認してください。

以下を点検しても直らない場合は、「8.3 サービスセンターに連絡する前に」の各項目を確認して、ご購入の販売代理店、または「PFU イメージング サービス&サポートセンター」にお問い合わせください。

| 症状 | 点検項目 | 対処方法 |
|---|--|--|
| fi-5000N の電源が入らない [電源ランプ (LED) が消灯している] | 電源スイッチが入っていますか？ | 電源スイッチを投入してください。 |
| | fi-5000N の AC アダプター、電源ケーブルは正しく接続されていますか？ | AC アダプター、電源ケーブルを正しく接続しなおしてください。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、USB ケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認してください。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、ネットワークケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルーターなど) に問題がないか確認してください。 |
| | 以下が正常であれば電源ランプ (LED) 不良です。正常に表示点灯しませんか？ 1. ネットワークコネクタ部のランプは点滅 (橙) していますか？ 2. 操作パネルにメッセージは表示されていますか？ 3. 管理ソフトウェアから問題の fi-5000N は見えますか？ | 電源を再投入してください。 |
| 操作パネルが何も表示しない | fi-5000N の電源ランプは点灯していますか？ | 電源スイッチを一旦切断し、AC アダプター、電源ケーブルの接続を確認してから電源を再投入してください。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、USB ケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認してください。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、ネットワークケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク (HUB、ルーターなど) に問題がないか確認してください。 |
| キーボードを押しても反応しない | fi-5000N の電源ランプが点灯し、メッセージディスプレイにメッセージを表示していますか？ | 電源スイッチを一旦切断し、AC アダプター、電源ケーブルの接続を確認してから電源を再投入してください。 |

| 症状 | 点検項目 | 対処方法 |
|---|--|--|
| スキャナの [Scan] また [Send to] ボタンを押しても読み取りを開始しない | スキャナはエラー状態になっていませんか？（スキャナのファンクションナンバーディスプレイに "U" または "E" ではじまるコードを表示していますか？） | 表示コードを記録し、表示コードにしたがって適切な処理を行ってください。表示コードの意味についてはスキャナのマニュアルを参照してください。 |
| | fi-5000N にエラーメッセージが表示されていませんか？ | 表示内容にしたがって適切な処置を行ってください。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、USB ケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、USB ケーブル、あるいはスキャナに問題がないか確認します。 |
| | fi-5000N の電源を切断し、ネットワークケーブルを抜き電源を再投入して復旧しないか確認します。 | 左記の操作で復旧する場合は、ネットワークケーブルあるいはネットワーク（HUB、ルーターなど）に問題がないか確認します。 |
| fi-5000N 設定ツールの [スキャナ選択] タブから fi-5000N が見えない（ネットワーク通信ができない） | <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークケーブルは接続されていますか？ 2. HUB の電源は入っていますか？ 3. fi-5000N の IP アドレスが正しく設定されていますか？ 4. fi-5000N の電源は入っていますか？ | ネットワークケーブルあるいはネットワーク（HUB、ルーターなど）に問題がないか確認してください。 |

| 症状 | 点検項目 | 対処方法 |
|---|---|--|
| スキャナ読み取り時に、「電源が入っているか、ケーブルが外れていないか、もしくは他のアプリケーションで使用していないか確認してください。」と表示される。 | fi-5000N およびスキャナの電源は入っていますか？ | 電源が入っていることを確認してください。 |
| | fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、使用する fi-5000N が「お気に入り」に指定されていますか？ | 使用する fi-5000N を「お気に入り」に設定してください。 |
| | fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「状態」が「無効」になっていませんか？ | 使用する fi-5000N の電源が入っているか、ネットワークケーブルが外れていないか確認してください。 |
| | fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「接続スキャナ」が「-----」になっていませんか？ | 使用する fi-5000N にスキャナが接続されているか、接続されているスキャナの電源が入っているか確認してください。 |
| | fi-5000N 設定ツールの「スキャナ選択」タブにて、「お気に入り」の fi-5000N の「状態」が「使用中」になっていませんか？ | fi-5000N を他の人が使用しています。使用の完了を待って、「スキャナ選択」表示を最新に更新した上で、fi-5000N の「状態」が「有効」になっていることを確認してから、もう一度スキャナ読み取り操作を行ってください。 |
| | DHCP 環境などで IP アドレスが変更されましたか？ | fi-5000N 設定ツールを起動して、[最新に更新] ボタンを押してください。DHCP 環境でお使いの場合、fi-5000N 設定ツールの [高度な設定] タブにある「PC 起動時に接続情報を更新しない」チェックボックスのチェックを外してご使用ください。 |
| 指紋認証すると違うユーザーでログインしてしまう | 1つの指紋を複数のユーザーに登録していませんか？ | ユーザーごとに異なる指紋を登録してください。 |

8.3 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター "PFU イメージング サービス&サポートセンター" に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

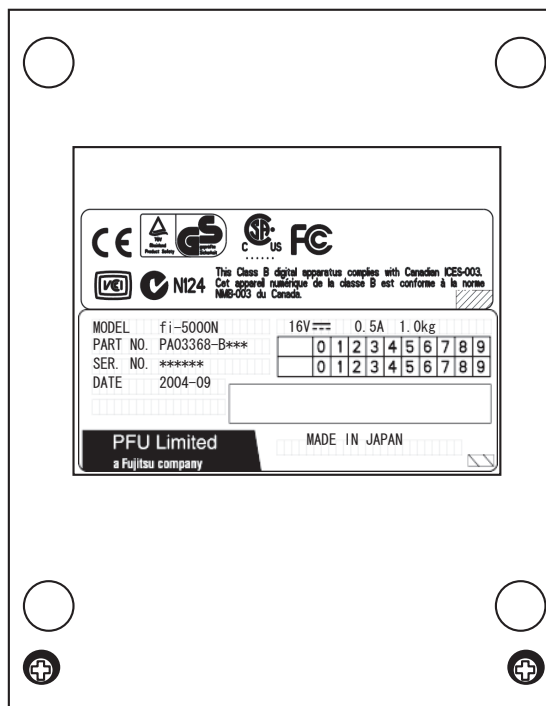
| 調査項目 | 調査結果例 | 備考 |
|--|--|--|
| 装置名 (モデル) | fi-5000N | 装置名については、「8.4 装置ラベルの確認」(89 ページ) を参照してください。 |
| 製造番号 (シリアルナンバー) | 000001 | 製造番号については、「8.4 装置ラベルの確認」(89 ページ) を参照してください。 |
| 製造年月 | 2004-11 (2004 年 11 月) | 製造年月日については、「8.4 装置ラベルの確認」(89 ページ) を参照してください。 |
| ファームウェアのバージョン | 0700 | 確認方法については、「3.10 装置情報の確認」(25 ページ) を参照してください。 |
| 購入年月日 | 2004.11.09 | |
| 症状 | [SET] キーを押しても 反応しない | できるだけ具体的に説明してください |
| 故障頻度 | 1 週間に 1 回 | |
| 保証書の有無 | 有 | |
| OS (Windows) の種類 | Windows XP (+SP2) | |
| 接続しているスキャナ名 Model Ser.No. 製造年月 購入日 | fi-4120C2 fi-4120C2 000000 2004-12 2005.7.27 | スキャナ装置上のラベルに記載されています。 |
| スキャナドライバ名・バージョン | FUJITSU TWAIN32 V9.16.117 | |
| アプリケーション名・バージョン | ScandAll 21 V4.2.33 | |

8.4 装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明します。

■ 2つのラベルの位置（裏面）

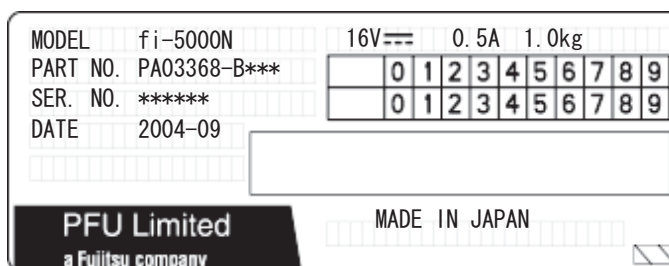
2つのラベルの位置を以下に示します。



ラベル A（例）：装置が適合する規格について示しています。



ラベル B（例）：装置の情報を示しています。



8

困ったときには

第9章



fi-5000N の仕様

| | |
|-----------------------------|----|
| 9.1 装置基本仕様 | 92 |
| 9.2 設置諸元 | 93 |
| 9.3 外形寸法 | 94 |
| 9.4 fi-5000N ソフトウェア仕様 | 95 |

9.1 装置基本仕様

| 項目 | | 仕様 |
|----------------|-----------|--|
| メッセージディスプレイ | タイプ | バックライト付モノクロ液晶 |
| | 表示文字数 | 20 文字（半角英数）x 4 行 |
| | ピクセル数 | 128 x 64 ピクセル |
| キーボード | | 「0」～「9」、「.」、「ID」、「SET」、「ESC」、 「ENT ←」、「↑」、「↓」 計 17 キー 手動開閉カバー付き |
| 指紋センサー | | 静電容量方式 解像度：500dpi (256 x 300 画素) |
| 指検出センサー | | 検出方式：赤外光フォトリフレクタ方式 |
| 記憶領域 | フラッシュ ROM | 2 MB |
| | RAM | 32 MB |
| スキャナ インターフェース | | USB 2.0 / 1.1 準拠 (USB 2.0 / 1.1 は自動判別) |
| 対応スキャナ | | fi-5110C, fi-5120C, fi-5220C, fi-5530C, fi-4120C2, fi-4220C2, fi-4120C, fi-4220C, fi-4530C (2005 年 12 月現在) 最新のスキャナの対応状況につきましては当社 ホームページでご確認ください。 |
| ネットワークインターフェース | | LAN IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u(100BASE-TX) |

9.2 設置諸元

| 項目 | | 仕様 | | |
|---------|-------|----------------------|-------|------|
| 外形寸法 | | 奥行き | 幅 | 高さ |
| | | 176mm | 125mm | 62mm |
| 重さ (kg) | | 1Kg 以下 | | |
| 入力電源 | 電圧範囲 | AC100 ~ 120 V ± 10 % | | |
| | 相 | 単相 | | |
| | 周波数範囲 | 50/60 ± 3 Hz | | |
| 消費電力 | | 8 W 以下 | | |

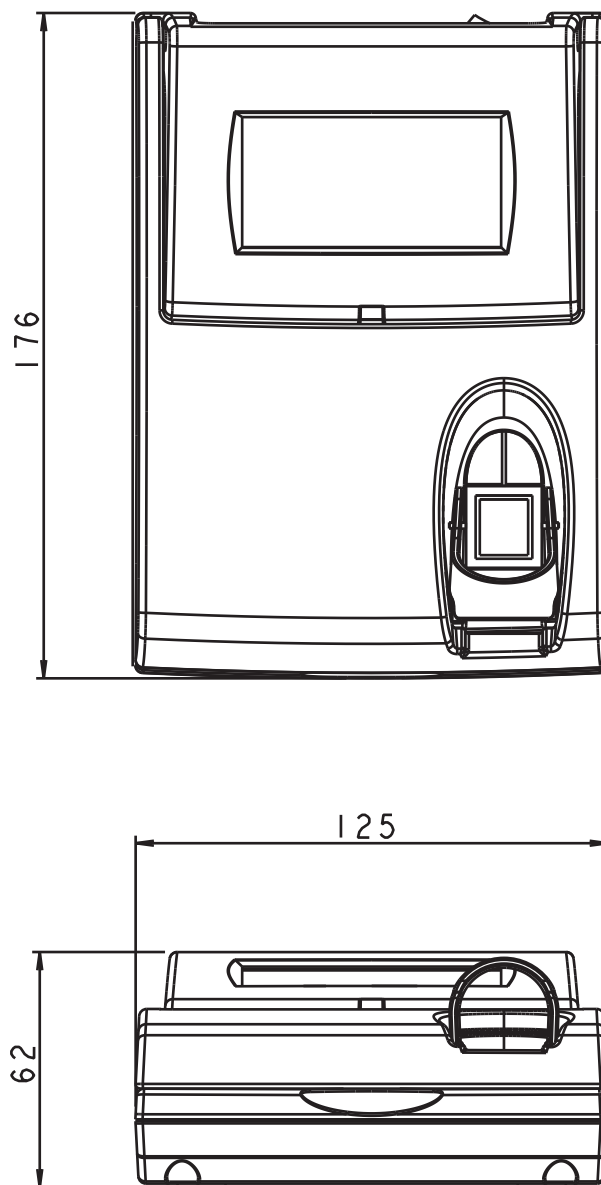
| 項目 | | 仕様 | |
|--------|------|-----------|--------------|
| 動作環境 | 装置状態 | 動作中 | 非使用時 |
| | 温度 | 5 ~ 35 °C | - 20 ~ 60 °C |
| | 湿度 | 20 ~ 80 % | 8 ~ 95 % |
| サポート期間 | | 5 年間 | |

9

fi-5000N の仕様

9.3 外形寸法

fi-5000N の外形寸法は以下のとおりです。



(単位 : mm)

9.4 fi-5000N ソフトウェア仕様

fi-5000N のソフトウェア仕様を以下に記載します。

| 項目 | 仕様 |
|----------|----------------------|
| スキャナ接続台数 | 32 台以下 |
| 登録ユーザー数 | 最大 32 人 |
| トリガーポート | 10002 (2000 ~ 60000) |



まって!

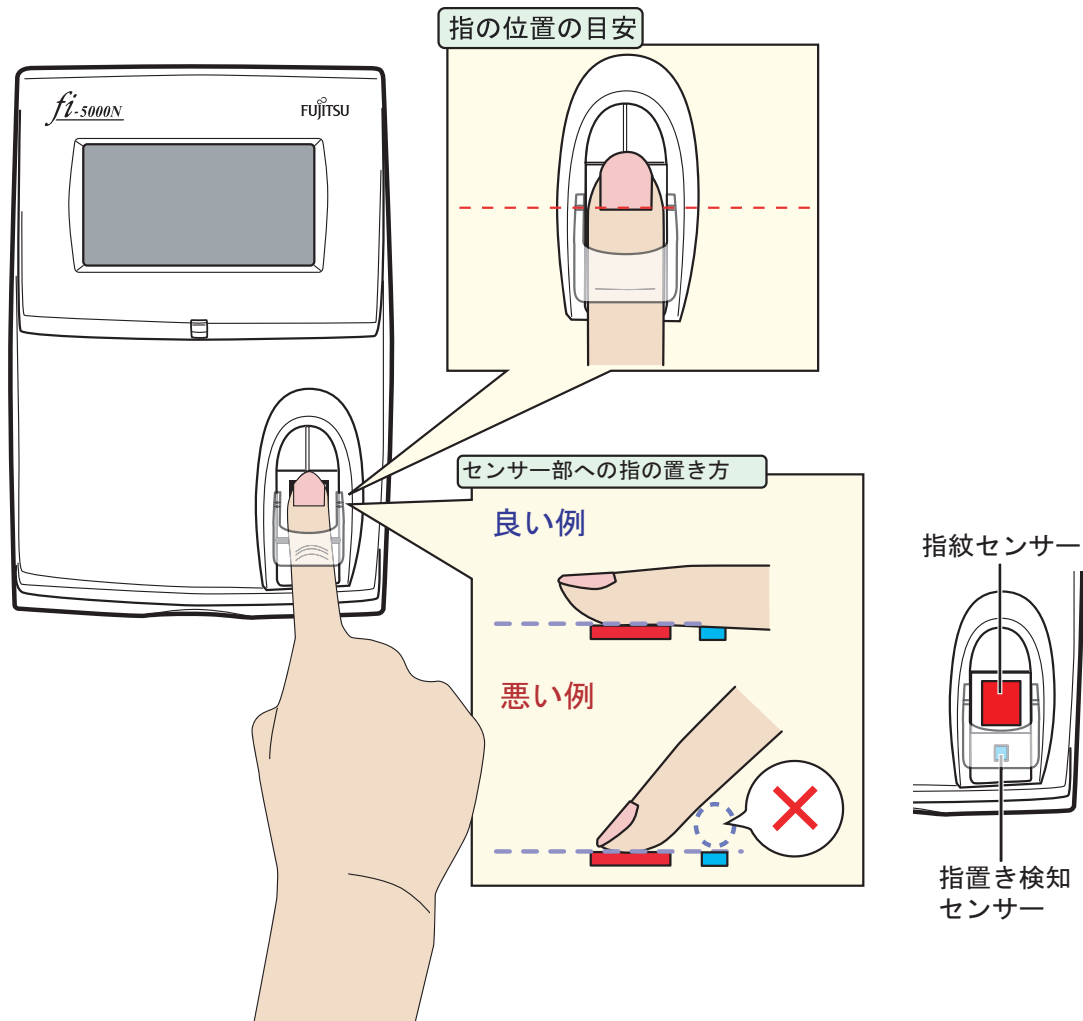
ネットワーク環境によっては、33 台以上接続すると、すべての装置が正しく検出されない場合があります。

付録 指紋認証操作方法について

1. 指の置き方

指紋の登録や認証を行う場合は、以下のことに注意してください。

- 精度を保つため、下図のように指の腹（指紋の中心部）が「指紋センサー」の中央にくるように指を置きます。目安として、爪の根元を白い目印を結んだ線に合わせ、センサーに指を押しあててください。
正しい指の位置を動画で確認 [クリック](#)
- 指を「指置き検知センサー」の上にかぶせるようにして乗せます。
(指と指置き検知センサーの間に隙間ができないようにしてください。)
正しい指の位置を動画で確認 [クリック](#)



指の状態が以下のような場合には、指紋の登録が困難になったり、照合率が低下することがあります。

- 手が荒れたり、極端に乾燥している。
- 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い。
- 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した。

手を洗う、手を拭く、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、登録時や照合時の状況が改善されることがあります。

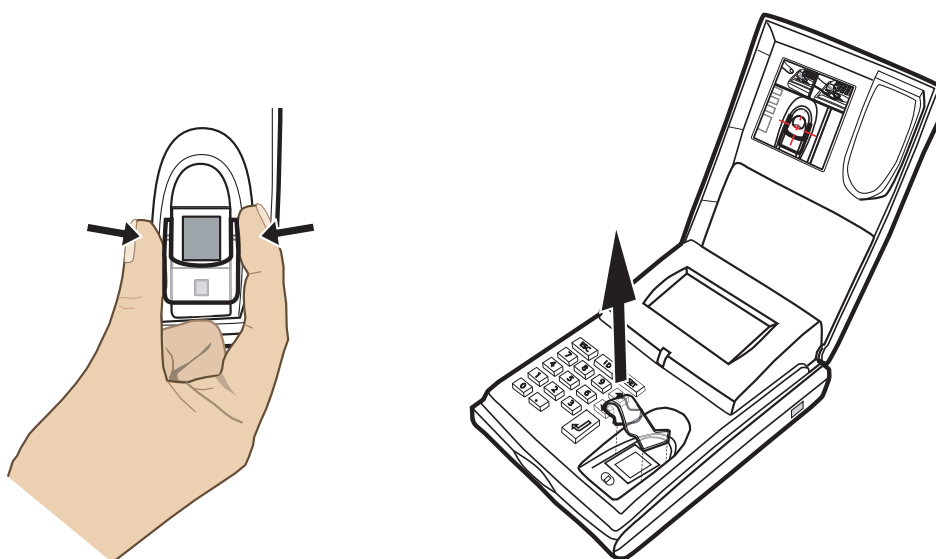
2. 指紋センサーの取扱上の注意

- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、マジックなどで塗りつぶしたりしないでください。故障および破損の原因となります。
- 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりしないでください。故障および破損の原因となります。
- 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦らないでください。センサー表面にキズが入り、故障および破損の原因となります。
- 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れないでください。細かい異物などによりセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れて、故障および破損の原因となります。
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
 - 指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
 - 指を離しているのに「再度読み取ります指を離してください」の表示が出たままになる。
 - 指紋の登録失敗や照合失敗が頻発する。
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。

3. 指ガイドの取り外し方

指ガイドは、指紋センサーに正しく指を導くためのプラスチックガイドです。以下の手順で取り外し可能です。

- 1) 指ガイドの左右両端を指でつまみます。
- 2) 指ガイドを内側に軽くたわませて、fi-5000N 本体から固定ピンを外します。
- 3) 指ガイドを上方に持ち上げて、fi-5000N 本体から取り外します。



索引

あ行

| | |
|---------------------|----|
| アプリケーション | 27 |
| アプリケーションの設定 | |
| FUJITSU ISIS の場合 | 37 |
| FUJITSU TWAIN32 の場合 | 36 |
| アンインストール | 38 |
| fi-5000N ソフトウェア | 66 |
| FUJITSU ISIS | 38 |
| FUJITSU TWAIN | 38 |
| ScandAll 21 | 38 |
| 暗証番号 (管理者用) | 15 |
| 暗証番号認証 | 73 |
| 暗証番号変更 | 74 |
| インストール | |
| fi-5000N ソフトウェア | 40 |
| FUJITSU ISIS | 33 |
| FUJITSU TWAIN32 | 28 |
| ScandAll 21 | 31 |
| 運用管理者 | 5 |
| お気に入りに設定 ボタン | 44 |
| オフセット | 62 |

か行

| | |
|-------------|--------|
| 外形寸法 | 77 |
| カバー | 8 |
| 管理者設定 | 55 |
| 管理者設定 ボタン | 45 |
| 起動オプション タブ | 45, 63 |
| キーボード | 8, 10 |
| クリーナ F1 | 76 |
| 工場出荷時状態にもどす | 26 |
| 高度な設定 タブ | 46 |
| 固定 IP | 15 |

さ行

| | |
|--------------------|--------|
| 最新に更新 ボタン | 44 |
| 作業フォルダ | 45 |
| 削除 ボタン | 44 |
| 削除 | |
| ユーザー情報 | 52 |
| fi-5000N | 49 |
| 指紋センサー | 8 |
| 指紋登録 | 69 |
| 指紋認証 | 72 |
| 仕様 | 92 |
| 省電力設定 | 61 |
| 消耗品交換 | 60 |
| 初期化 | 26 |
| スキャナ情報管理 | 58 |
| スキャナ情報表示 | 25 |
| スキャナ選択 タブ | 44 |
| スキャナドライバ | 27 |
| 清掃用具 | 76, 77 |
| セキュリティ ケーブルスロット | 8 |
| 接続スキャナ情報 | 58 |
| 接続スキャナ情報 ボタン | 45 |
| 操作オペレーター | 5 |
| 装置異常 (スキャナ装置) | 84 |
| 装置異常 (fi-5000N 本体) | 83 |
| 装置情報 タブ | 59 |
| 装置設定 タブ | 60 |

た行

| | |
|--------|----|
| 追加 | 47 |
| 追加 ボタン | 44 |
| 電源ケーブル | 12 |
| 電源コネクタ | 9 |

| | |
|---------|----|
| 電源スイッチ | 9 |
| 電源投入 | 2 |
| 登録 | 51 |
| トリガーポート | 46 |

な行

| | |
|------------|----|
| ネットワークコネクタ | 9 |
| ネットワーク設定 | 14 |

は行

| | |
|------------|--------|
| 倍率調整 | 62 |
| バックアップ | |
| ユーザー情報 | 53 |
| バックライト自動オフ | 19 |
| バージョン情報 タブ | 46 |
| 引数 | 45, 63 |
| 表示言語 | 18 |
| 表示言語切り替え | 18 |
| ビープ音オン/オフ | 20 |
| ファームバージョン | 25 |
| プッシュ読み取り | 4, 21 |
| プル操作時指紋認証 | 22 |
| プル読み取り | 4, 21 |
| 変更 | |
| 管理者暗証番号 | 57 |
| トリガーポート | 56 |
| 名称 | 56 |
| ユーザー暗証番号 | 74 |
| ユーザー情報 | 52 |
| ホスト応答待ち | 24 |
| ボタン | 45 |
| 本体装置名表示 | 25 |
| 本体の設置 | 12 |

ま行

| | |
|--------------|---|
| メッセージ ディスプレイ | 8 |
|--------------|---|

や行

| | |
|------------|----|
| 指置き検出センサー | 8 |
| ユーザー設定 | 50 |
| ユーザー設定 ボタン | 44 |
| 読取後自動ログアウト | 23 |

ら行

| | |
|--------|----|
| リストア | |
| ユーザー情報 | 54 |
| リンク先 | 45 |

A

| | |
|----------|----|
| AC アダプター | 12 |
| ADF の清掃 | 14 |

D

| | |
|------|----|
| DHCP | 15 |
|------|----|

E

| | |
|--------|----|
| ENT キー | 10 |
| ESC キー | 10 |

F

| | |
|-----------------|----|
| fi-5000N ソフトウェア | 39 |
| fi-5000N 設定ツール | 44 |
| FUJITSU ISIS | 27 |
| FUJITSU TWAIN32 | 27 |

H

| | |
|---------------|----|
| Host 接続タイムアウト | 24 |
|---------------|----|

N

| | |
|--------------|----|
| Network 設定表示 | 25 |
|--------------|----|

Q

| | |
|---------------|----|
| QuickScan Pro | 27 |
|---------------|----|

S

| | |
|-------------------|----|
| ScandAll 21 | 27 |
| SET キー | 10 |

U

| | |
|----------------|----|
| USB ケーブル | 13 |
| USB コネクタ | 9 |



修理・お問合せについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の 2 種類のサービスメニューがあります。

□ 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

□ 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の 2 種類のサービスがあります。

□ センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| SENDバック修理サービス | 持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担 |
| 引き取り修理サービス（付加） | 指定日に修理機を引き取ります。 |
| 代替機サービス（付加） * 1 * 2 | 修理中に代替機を貸出します。 （引き取りと併用） |

* 1) 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

* 2) 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスののみのご利用はできません。ご了承下さい。

| | |
|--------|---|
| キャンセル料 | 持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。 |
|--------|---|

□ オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

| | |
|-------------|---|
| オンサイト修理サービス | 訪問基本料金（作業時間＝1時間まで）＋部品費＋オプション料金＋加算料金（技術料金。その他加算料金） |
|-------------|---|

| スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ | |
|-------------------------------|---|
| 受付窓口 | PFU イメージング サービス&サポートセンター |
| E-mail | scanners@pfu.fujitsu.com |
| 電話 | 0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合） |
| 受付時間 | 月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く） |
| ホームページ | http://imagescanner.fujitsu.com/jp/ |

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 清掃用品の購入先

清掃用品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社
TEL: 0120-505-279（お客様総合センター）
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>
電話お問い合わせ受付時間
月～金／9：00～17：30
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

- 本製品の修理はお客様自身ではおこなわないでください。
- 本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご確認ください。保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管してください。
- 本製品の修理部品（＝製品の消耗部品、機能維持に必要な部品）の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。

fi-5000N オペレーターガイド

P3PC-1132-07Z0

発行日 2009年8月

発行責任 株式会社PFU

- 本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。
- 本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。
- 本書に記載されている内容に誤りがあっても、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規程をご覧ください。
- 本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です。